資料２

三重県南海トラフ地震被害想定
（概要版）

令和８年３月30日

三重県防災対策部

目　　次

1．はじめに	（1）被害想定作成の趣旨・目的	P 1
	（2）被害想定の全体像	P 1
	（3）被害想定のポイント	P 1
	（4）被害想定の対象とする地震の種類	P 2
2．ハザード評価結果	（1）地震動	P 3
	（2）長周期地震動	P 5
	（3）液状化	P 6
	（4）斜面災害	P 8
	（5）津波	P 9
3．リスク評価結果（※）	（1）人的被害	P 24
	（2）建物被害	P 32
	（3）火災被害	P 37
4．半割れケースの評価結果	（1）半割れケースについて	P 40
	（2）ハザード評価	P 41
	（3）リスク評価	P 44

（※）上記以外のリスク評価結果は令和８年度の公表を予定しています。

1．はじめに

（1）被害想定作成の趣旨・目的

〇三重県では、平成２５年度に作成した南海トラフ地震被害想定をふまえ、地震・津波対策を推進してきたところです。
〇前回想定から１０年余が経過した中で、この間の社会状況の変化や大規模な地震災害の教訓をふまえ、右記の**３つの基本的な考え方**に基づき、三重県における新たな南海トラフ地震被害想定を作成しました。
〇今回作成した被害想定を基に、南海トラフ地震によって発生する被害を**正しく理解し、適切な行動につなげる**ことが重要です。
〇県民の皆さんの**生命・財産、地域を守る**ため、**あらゆる主体が総力を挙げて備えていく**必要があります。

新たな南海トラフ地震被害想定作成における３つの基本的な考え方

❶ 大規模地震災害の教訓等から、新たに明らかとなった**リスクやニーズに対応**

❷ 地域特性をふまえたきめ細かなリスク分析により、**地域の災害リスクを明確化**

❸ 迅速に復旧活動を進めるため、災害対応に必要となる**リソースを定量的に把握**

（2）被害想定の全体像

ハザード：地震によって発生する自然現象
- 地震動
- 新 長周期地震動
- 液状化
- 新 斜面災害
- 津波

リスク：ハザードによって発生する被害や社会機能の支障
- 人的被害
- 建物被害
- 火災被害
- 新 災害関連死
- 新 避難所
- 孤立地域
- その他２９項目

（うち15項目が新規項目）

新 **被災シナリオ**：地震や津波が発生した場合に起こり得る状況を分かりやすく示したもの
- 新 県民向けシナリオ
- 新 企業・事業者向けシナリオ
- 新 行政向けシナリオ

令和８年３月公表

（3）被害想定のポイント

（H25からの変更点や拡充点）

最新データを活用し、**被害想定の精度を向上**

〇ボーリングデータを大幅に追加し、地盤データに反映（12,000本⇒24,800本）
〇最新の測量成果を地形データに反映（R４航空レーザー測量）

想定項目を追加し、**新たに明らかとなったリスクに対応**

【ハザード】長周期地震動など**２項目を追加**
【リスク】災害関連死など**17項目を追加**

新たに被災シナリオを作成し、**「分かりやすく」**

県民、企業・事業者が地震による被害を自分事としてイメージするためのツール

1．はじめに

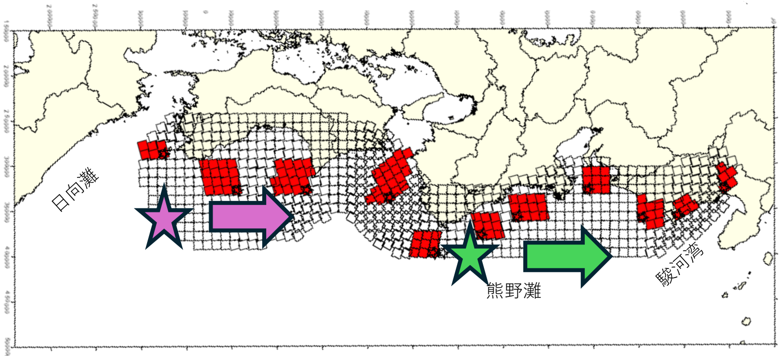
（4）被害想定の対象とする地震の種類

※M_w（モーメントマグニチュード）とは、地震の規模を表す指標であるマグニチュードの一種であり、大きな地震の規模を正確に表すことができる。

想定地震	震源規模	説明
理論上最大クラスの南海トラフ地震（L２） ※　L２（レベル２） 南海トラフ地震の規模を段階的に示したもの。 レベル１よりも規模が１段階大きいことを示す。	地震動：M_w9.0 津　波：M_w9.1	● 内閣府が設置する「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」で議論された、あらゆる可能性を科学的見地から考慮し、**発生する確率は極めて低いものの理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震**
過去最大クラスの南海トラフ地震（L１） ※　L１（レベル１） 南海トラフ地震の規模を段階的に示したもの。	地震動：M_w8.8 津　波：M_w8.9	● 過去概ね100年から150年間隔でこの地域を襲い、揺れと津波により三重県に甚大な被害をもたらしてきた、**歴史的にこの地域で起こり得ることが記録等から実証されている、発生頻度の高い南海トラフ地震**
半割れケース ㊍新	後述（40ページ）	● 南海トラフの想定震源域内の領域の一部で大規模地震が発生し、残りの領域で大規模地震発生の可能性が高まったと評価された場合を想定したケース。 ● 上記「過去最大クラスの南海トラフ地震」及び「理論上最大クラスの南海トラフ地震」に対する半割れ地震を想定する。

＜半割れケースのイメージ＞
例：過去最大クラスの半割れケース

【西半割れケース】
今回の三重県の被害想定では、南海トラフの想定震源域の西端を震源とした地震が発生するケースを想定



【東半割れケース】
今回の三重県の被害想定では、潮岬沖を震源として地震が発生するケースを想定

※　☆印は今回想定における震源
矢印は震源から岩盤が破壊されていく方向
赤色のメッシュは強振動生成域を示す

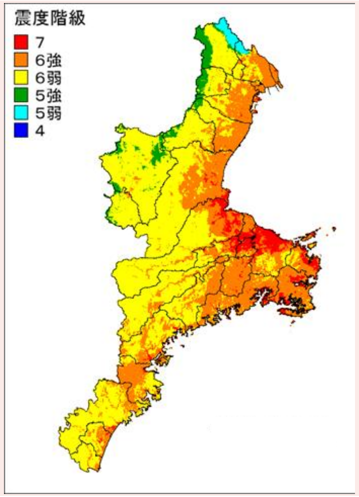
2．ハザード評価結果

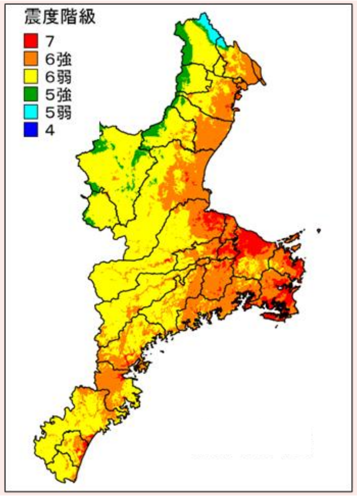
（1）地震動

地震による揺れの強さを予測し、その結果を震度階級により示しています。

【L２】理論上最大クラス

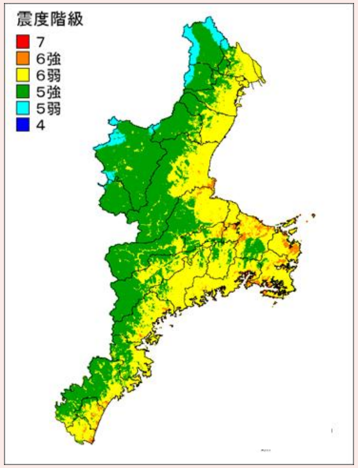
今回想定	前回想定

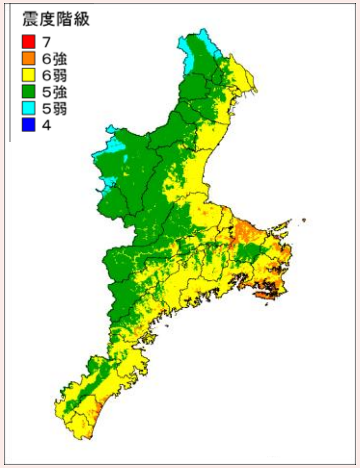




【L１】過去最大クラス

今回想定	前回想定





概観

　理論上最大クラスでは、**県内のほぼ全域で震度６弱以上**、伊勢湾沿岸部から志摩半島にかけては震度６強、特に**津市南部から伊勢市にかけては震度７**を予測する地域もあります。

　過去最大クラスでも、伊勢湾沿岸部から志摩半島を中心に県内の約半分の地域で震度６弱以上の揺れを予測しています。

＜震度別面積割合＞

	【Ｌ２】理論上最大クラス			
	今回（Ｒ７）		前回（Ｈ25）	
震度階級	面積（km^2）	面積割合	面積（km^2）	面積割合
7	324.85	5.63%	388.19	6.72%
６強	1,948.97	33.75%	1,919.29	33.22%
６弱	3,222.69	55.81%	3,163.97	54.77%
５強	226.86	3.93%	261.44	4.53%
５弱	51.11	0.89%	44.43	0.77%
合計	5774.48		5777.32	

	【Ｌ１】過去最大クラス			
	今回（Ｒ７）		前回（Ｈ25）	
震度階級	面積（km^2）	面積割合	面積（km^2）	面積割合
7	2.18	0.04%	5.63	0.10%
６強	184.01	3.19%	287.18	4.97%
６弱	2,472.98	42.83%	2,449.16	42.39%
５強	2,917.43	50.52%	2,843.87	49.22%
５弱	197.88	3.43%	191.47	3.31%
合計	5774.48		5777.32	

２．ハザード評価結果

＜市町別震度別面積割合＞

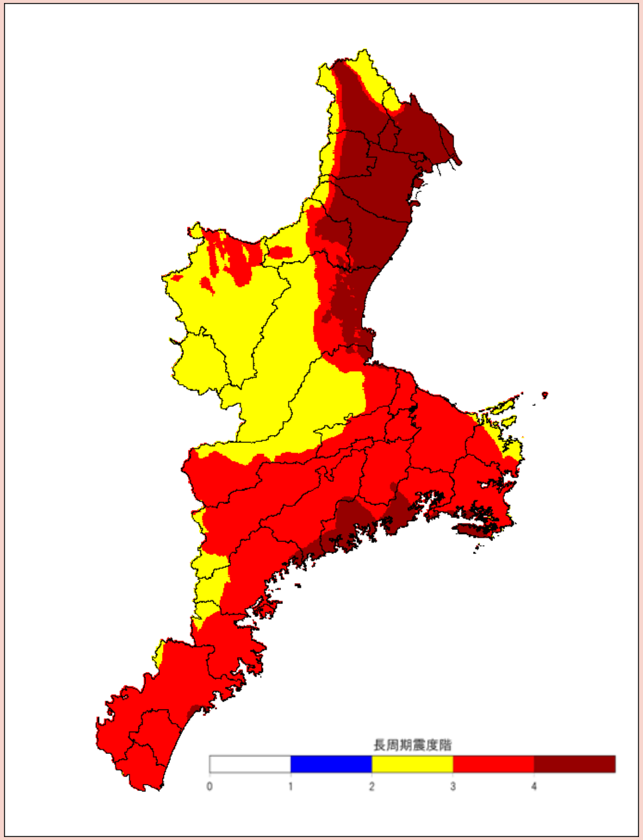
	【Ｌ２】 理論上最大クラス										
	５弱		５強		６弱		６強		７		総面積
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	(km^2)
桑名市	14.3	10.5%	3.9	2.8%	41.1	30.1%	77.0	56.3%	0.4	0.3%	136.7
いなべ市	36.9	16.8%	63.1	28.7%	118.1	53.7%	1.8	0.8%	0.0	0.0%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.0	95.5%	0.7	4.5%	15.7
東員町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	18.7	82.2%	4.0	17.8%	0.0	0.0%	22.7
四日市市	0.0	0.0%	5.0	2.4%	66.9	32.4%	131.6	63.8%	2.9	1.4%	206.5
菰野町	0.0	0.0%	30.4	28.4%	68.2	63.7%	8.4	7.8%	0.0	0.0%	107.0
朝日町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.6	27.5%	4.3	72.5%	0.0	0.0%	6.0
川越町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.1	0.7%	8.7	99.3%	0.0	0.0%	8.7
鈴鹿市	0.0	0.0%	12.7	6.5%	75.8	39.0%	105.2	54.1%	0.7	0.4%	194.5
亀山市	0.0	0.0%	24.8	13.0%	146.3	76.6%	19.9	10.4%	0.0	0.0%	191.0
津市	0.0	0.0%	0.5	0.1%	451.3	63.5%	245.5	34.5%	13.9	2.0%	711.2
松阪市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	426.7	68.4%	140.7	22.6%	56.2	9.0%	623.6
多気町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	41.0	39.8%	44.0	42.6%	18.1	17.6%	103.1
明和町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	26.6	64.7%	14.5	35.2%	41.1
大台町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	302.4	83.3%	60.2	16.6%	0.3	0.1%	362.9
伊賀市	0.0	0.0%	73.7	13.2%	475.5	85.2%	9.0	1.6%	0.0	0.0%	558.2
名張市	0.0	0.0%	13.9	10.7%	111.9	86.2%	3.9	3.0%	0.0	0.0%	129.8
伊勢市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	48.3	23.2%	74.8	35.9%	85.3	40.9%	208.4
鳥羽市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	19.2	17.8%	60.0	55.9%	28.2	26.3%	107.3
志摩市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	4.9	2.8%	139.8	78.1%	34.2	19.1%	178.9
玉城町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	3.3	8.0%	13.8	33.9%	23.8	58.2%	40.9
南伊勢町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	37.8	15.6%	185.5	76.7%	18.6	7.7%	241.9
大紀町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	131.7	56.4%	101.2	43.4%	0.5	0.2%	233.3
度会町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.4	6.2%	121.2	89.8%	5.3	4.0%	135.0
尾鷲市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	70.1	36.4%	120.4	62.5%	2.3	1.2%	192.7
紀北町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	153.0	59.6%	94.4	36.8%	9.2	3.6%	256.6
熊野市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	299.9	80.3%	70.2	18.8%	3.2	0.9%	373.4
御浜町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	52.4	59.5%	33.3	37.7%	2.5	2.8%	88.1
紀宝町	0.0	0.0%	0.0	0.1%	68.7	86.3%	10.7	13.5%	0.1	0.1%	79.6
計	51.2	0.9%	228.1	3.9%	3243.3	56.2%	1931.1	33.4%	320.8	5.6%	5774.5

	【Ｌ１】過去最大クラス										
	５弱		５強		６弱		６強		７		総面積
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	(km^2)
桑名市	10.6	7.8%	31.9	23.3%	93.7	68.6%	0.4	0.3%	0.0	0.0%	136.7
いなべ市	87.2	39.6%	131.7	59.9%	1.0	0.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.7	100.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.7
東員町	0.0	0.0%	19.2	84.7%	3.5	15.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	22.7
四日市市	0.0	0.0%	83.7	40.6%	122.3	59.2%	0.5	0.2%	0.0	0.0%	206.5
菰野町	22.6	21.1%	82.5	77.1%	2.0	1.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	107.0
朝日町	0.0	0.0%	0.0	0.1%	6.0	99.9%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	6.0
川越町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.7	100.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.7
鈴鹿市	0.0	0.0%	70.9	36.5%	123.4	63.5%	0.1	0.1%	0.0	0.0%	194.5
亀山市	7.2	3.8%	160.9	84.2%	22.9	12.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	191.0
津市	0.0	0.0%	448.0	63.0%	254.1	35.7%	9.1	1.3%	0.0	0.0%	711.2
松阪市	0.0	0.0%	396.2	63.5%	218.5	35.0%	8.9	1.4%	0.0	0.0%	623.6
多気町	0.0	0.0%	40.8	39.6%	57.0	55.3%	5.3	5.1%	0.0	0.0%	103.1
明和町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	37.7	91.9%	3.3	8.1%	0.0	0.0%	41.1
大台町	0.0	0.0%	240.0	66.1%	122.4	33.7%	0.5	0.1%	0.0	0.0%	362.9
伊賀市	65.9	11.8%	481.4	86.2%	10.9	2.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	558.2
名張市	5.5	4.2%	121.7	93.8%	2.6	2.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	129.8
伊勢市	0.0	0.0%	60.0	28.8%	115.3	55.4%	33.0	15.8%	0.0	0.0%	208.4
鳥羽市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	82.4	76.7%	25.0	23.3%	0.0	0.0%	107.3
志摩市	0.0	0.0%	9.9	5.5%	138.3	77.3%	30.6	17.1%	0.1	0.1%	178.9
玉城町	0.0	0.0%	3.6	8.7%	28.3	69.3%	9.0	22.0%	0.0	0.0%	40.9
南伊勢町	0.0	0.0%	13.1	5.4%	207.0	85.6%	20.3	8.4%	1.4	0.6%	241.9
大紀町	0.0	0.0%	32.9	14.1%	199.7	85.6%	0.7	0.3%	0.0	0.0%	233.3
度会町	0.0	0.0%	29.1	21.6%	103.8	76.9%	2.1	1.5%	0.0	0.0%	135.0
尾鷲市	0.0	0.0%	88.2	45.8%	103.4	53.6%	1.1	0.6%	0.0	0.0%	192.7
紀北町	0.0	0.0%	102.6	40.0%	145.0	56.5%	8.7	3.4%	0.3	0.1%	256.6
熊野市	0.0	0.0%	254.8	68.2%	114.4	30.6%	4.1	1.1%	0.1	0.0%	373.4
御浜町	0.0	0.0%	27.7	31.5%	50.7	57.5%	9.6	10.9%	0.1	0.1%	88.1
紀宝町	0.0	0.0%	7.1	8.9%	64.8	81.4%	7.6	9.5%	0.1	0.1%	79.6
計	198.9	3.4%	2938.1	50.9%	2455.5	42.5%	179.8	3.1%	2.1	0.0%	5774.5

（２）長周期地震動

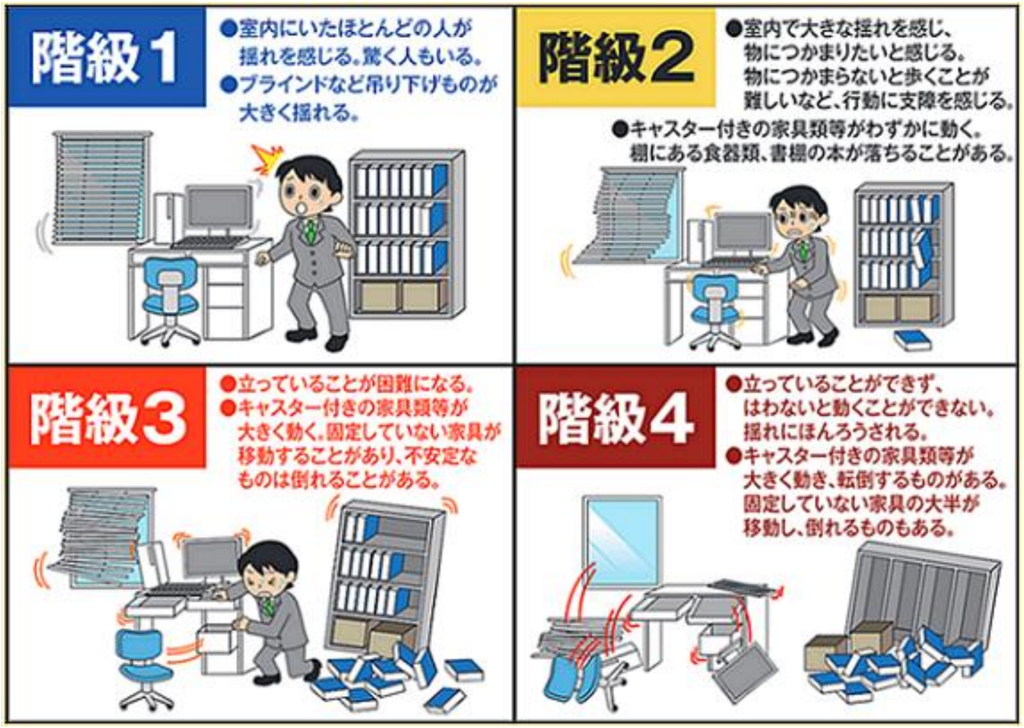
地震の揺れのうち、特に長周期地震動の強さを予測し、その結果を長周期地震動階級により示しています。

【Ｌ１】過去最大クラス



概観

　県内のほぼ全域で長周期地震動階級３以上が想定され、**北部の沿岸部や南部の一部地域では長周期地震動階級４が想定**を予測する地域もあります。



出典：気象庁HP「長周期地震動について」

＜長周期地震動とは＞

　長周期地震動とは、大きな地震で生じる、周期（揺れが１往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのことを言います。

　高層ビルや大型タンクに貯蔵された液体が大きく長時間揺れ続けるほか、地震が発生した場所から数百kmはなれたところでも大きく長く揺れることがあります。

　長周期地震動階級とは、高層ビル内における、地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度から４つの段階に区分した揺れの大きさの指標です。

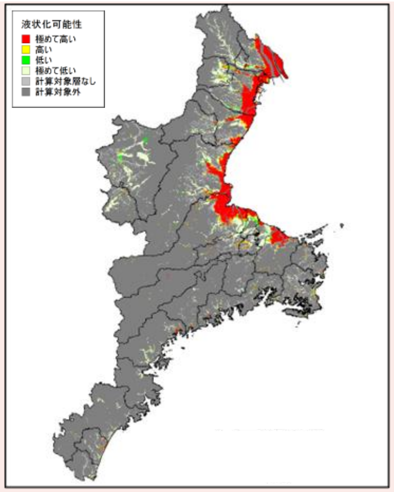
2．ハザード評価結果

（3）液状化

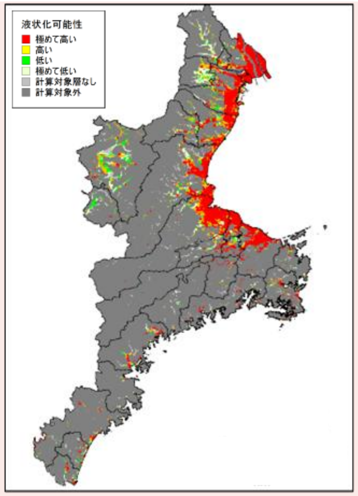
地震の揺れにより液状化が発生する可能性を予測し、その結果を液状化の危険度として示しています。

【L２】理論上最大クラス

今回想定

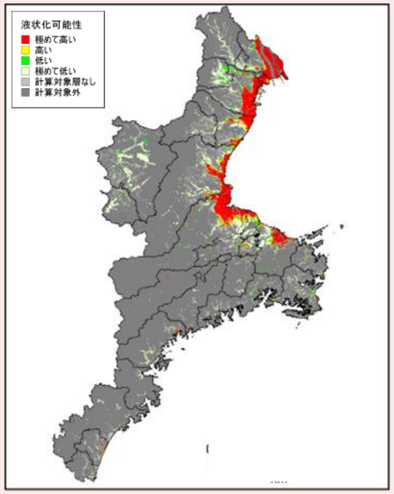


前回想定

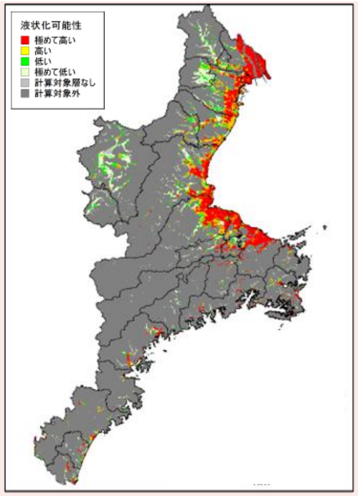


【L１】過去最大クラス

今回想定



前回想定



概観

伊勢湾沿岸部は液状化危険度の高い地域が集中しています。

志摩半島以南では、沿岸部の一部の地域で液状化危険度の高い地域が見られます。

内陸部では、河川に近い一部の地域で液状化危険度が高いと予測しています。

＜留意事項＞

左記の液状化危険度分布図は、その地域における地形や地質上の特徴をふまえて液状化の発生可能性を示したものです。

建物を設計する際、液状化に関する詳細な調査や対策が必要かどうかを判断する目安としての活用を想定したものであり、特定の地点における危険度を明確に示すものではありません。

＜参考：凡例について＞

凡例	解説
極めて高い	PL＞15　液状化危険度が高い
高い	5＜PL≦15　液状化危険度がやや高い
低い	0＜PL≦5　液状化危険度は低い
極めて低い	PL=0　液状化危険度は極めて低い
計算対象層なし	地盤に砂や礫などの液状化の要因となる層が含まれていない
計算対象外	山地や丘陵など、地形区分から液状化を予測対象に含まれない

※PL値＝液状化の危険度を表す指標。その地点の地震動に対して、液状化する可能性がある地層の厚さ等から算出

２．ハザード評価結果

＜市町別液状化可能性別面積割合＞

	【Ｌ２】理論上最大クラス										
	極めて低い		低い		高い		極めて高い		計算対象層なし 計算対象外		総面積 (km^2)
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	
桑名市	5.4	4.0%	1.7	1.2%	5.0	3.6%	37.7	27.6%	86.8	63.5%	136.7
いなべ市	15.0	6.8%	0.5	0.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	204.3	92.9%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	12.1	76.7%	3.7	23.3%	15.7
東員町	6.0	26.3%	0.3	1.2%	0.3	1.2%	0.3	1.1%	15.9	70.2%	22.7
四日市市	15.6	7.6%	3.2	1.5%	6.6	3.2%	52.8	25.6%	128.3	62.1%	206.5
菰野町	22.2	20.8%	0.9	0.8%	3.5	3.3%	0.1	0.1%	80.3	75.1%	107.0
朝日町	0.2	3.3%	0.1	2.0%	0.2	2.6%	2.3	37.7%	3.3	54.4%	6.0
川越町	0.0	0.0%	0.1	1.2%	1.0	11.0%	6.6	76.2%	1.0	11.5%	8.7
鈴鹿市	12.0	6.2%	1.7	0.9%	6.8	3.5%	24.1	12.4%	149.8	77.1%	194.5
亀山市	8.3	4.3%	0.6	0.3%	0.7	0.3%	0.3	0.2%	181.2	94.9%	191.0
津市	32.1	4.5%	4.4	0.6%	11.3	1.6%	42.9	6.0%	620.5	87.2%	711.2
松阪市	24.9	4.0%	2.1	0.3%	12.9	2.1%	60.9	9.8%	522.8	83.8%	623.6
多気町	5.6	5.4%	0.3	0.3%	2.3	2.2%	0.6	0.6%	94.3	91.5%	103.1
明和町	10.9	26.6%	2.6	6.2%	2.9	7.0%	6.7	16.3%	18.0	43.9%	41.1
大台町	0.3	0.1%	0.1	0.0%	0.5	0.1%	0.5	0.1%	361.6	99.6%	362.9
伊賀市	41.2	7.4%	4.3	0.8%	2.4	0.4%	0.0	0.0%	510.3	91.4%	558.2
名張市	10.0	7.7%	0.5	0.4%	1.1	0.9%	0.2	0.1%	118.0	90.9%	129.8
伊勢市	18.1	8.7%	2.5	1.2%	5.6	2.7%	23.2	11.1%	159.0	76.3%	208.4
鳥羽市	2.3	2.1%	0.2	0.2%	1.4	1.3%	0.5	0.5%	102.9	95.9%	107.3
志摩市	6.9	3.9%	0.9	0.5%	2.5	1.4%	0.7	0.4%	167.9	93.9%	178.9
玉城町	5.1	12.6%	0.1	0.1%	2.9	7.1%	0.5	1.1%	32.4	79.1%	40.9
南伊勢町	6.9	2.8%	0.9	0.4%	1.1	0.4%	0.8	0.3%	232.2	96.0%	241.9
大紀町	2.4	1.0%	0.1	0.0%	0.6	0.2%	0.2	0.1%	230.0	98.6%	233.3
度会町	3.7	2.8%	0.0	0.0%	0.2	0.2%	0.0	0.0%	131.0	97.0%	135.0
尾鷲市	2.9	1.5%	0.0	0.0%	0.3	0.2%	0.0	0.0%	189.5	98.3%	192.7
紀北町	9.5	3.7%	0.8	0.3%	1.1	0.4%	1.1	0.4%	244.1	95.1%	256.6
熊野市	4.7	1.2%	0.2	0.0%	0.6	0.2%	0.2	0.0%	367.7	98.5%	373.4
御浜町	4.3	4.9%	0.3	0.4%	0.7	0.8%	1.0	1.1%	81.8	92.8%	88.1
紀宝町	1.7	2.1%	0.2	0.2%	0.4	0.4%	0.3	0.3%	77.2	96.9%	79.6
計	278.1	4.8%	29.5	0.5%	74.6	1.3%	276.5	4.8%	5115.8	88.6%	5774.5

	【Ｌ１】過去最大クラス										
	極めて低い		低い		高い		極めて高い		計算対象層なし 計算対象外		総面積 (km^2)
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	
桑名市	6.8	5.0%	2.7	2.0%	4.6	3.3%	35.7	26.2%	86.8	63.5%	136.7
いなべ市	15.5	7.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	204.3	92.9%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.2	1.6%	11.8	75.1%	3.7	23.3%	15.7
東員町	6.3	27.6%	0.2	1.1%	0.2	0.7%	0.1	0.5%	15.9	70.2%	22.7
四日市市	18.6	9.0%	4.6	2.2%	7.2	3.5%	47.8	23.2%	128.3	62.1%	206.5
菰野町	23.0	21.5%	3.4	3.2%	0.2	0.2%	0.0	0.0%	80.3	75.1%	107.0
朝日町	0.3	4.8%	0.2	2.5%	0.2	3.1%	2.1	35.2%	3.3	54.4%	6.0
川越町	0.0	0.0%	0.2	2.0%	1.0	11.5%	6.5	75.0%	1.0	11.5%	8.7
鈴鹿市	13.4	6.9%	3.1	1.6%	8.9	4.6%	19.1	9.8%	149.8	77.1%	194.5
亀山市	8.7	4.5%	0.6	0.3%	0.5	0.2%	0.0	0.0%	181.2	94.9%	191.0
津市	35.6	5.0%	5.2	0.7%	13.6	1.9%	36.4	5.1%	620.5	87.2%	711.2
松阪市	26.4	4.2%	4.8	0.8%	17.2	2.8%	52.3	8.4%	522.8	83.8%	623.6
多気町	5.9	5.8%	1.1	1.1%	1.7	1.6%	0.0	0.0%	94.3	91.5%	103.1
明和町	11.7	28.5%	2.7	6.5%	3.6	8.7%	5.1	12.4%	18.0	43.9%	41.1
大台町	0.3	0.1%	0.4	0.1%	0.1	0.0%	0.5	0.1%	361.6	99.6%	362.9
伊賀市	43.6	7.8%	3.9	0.7%	0.4	0.1%	0.0	0.0%	510.3	91.4%	558.2
名張市	10.4	8.0%	1.0	0.8%	0.4	0.3%	0.0	0.0%	118.0	90.9%	129.8
伊勢市	20.4	9.8%	4.2	2.0%	6.1	2.9%	18.7	9.0%	159.0	76.3%	208.4
鳥羽市	2.3	2.2%	0.3	0.3%	1.4	1.3%	0.3	0.3%	102.9	95.9%	107.3
志摩市	7.3	4.1%	1.6	0.9%	1.7	1.0%	0.4	0.2%	167.9	93.9%	178.9
玉城町	5.2	12.8%	0.4	1.1%	2.9	7.0%	0.0	0.1%	32.4	79.1%	40.9
南伊勢町	7.4	3.1%	0.9	0.4%	0.9	0.4%	0.5	0.2%	232.2	96.0%	241.9
大紀町	2.4	1.0%	0.4	0.2%	0.3	0.1%	0.2	0.1%	230.0	98.6%	233.3
度会町	3.8	2.8%	0.1	0.1%	0.1	0.1%	0.0	0.0%	131.0	97.0%	135.0
尾鷲市	2.9	1.5%	0.0	0.0%	0.3	0.2%	0.0	0.0%	189.5	98.3%	192.7
紀北町	9.8	3.8%	0.8	0.3%	0.8	0.3%	0.9	0.4%	244.1	95.1%	256.6
熊野市	4.7	1.3%	0.5	0.1%	0.3	0.1%	0.1	0.0%	367.7	98.5%	373.4
御浜町	4.4	5.0%	0.4	0.5%	0.8	0.9%	0.8	0.9%	81.8	92.8%	88.1
紀宝町	1.7	2.1%	0.2	0.2%	0.3	0.4%	0.2	0.3%	77.2	96.9%	79.6
計	298.9	5.2%	44.1	0.8%	76.1	1.3%	239.7	4.2%	5115.8	88.6%	5774.5

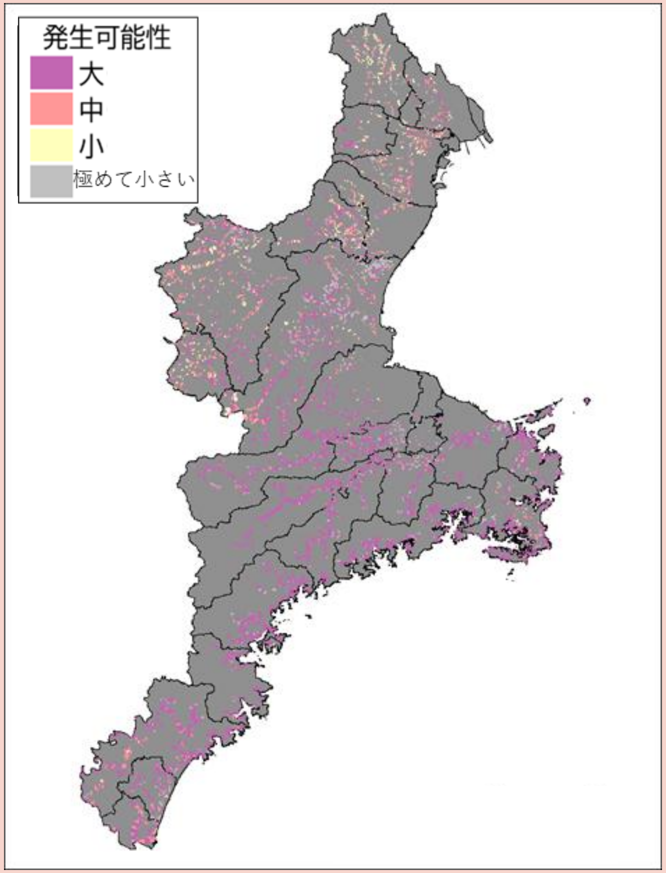
（４）斜面災害

地震の揺れにより、がけ崩れや地すべりといった斜面災害が発生する可能性を予測しています。

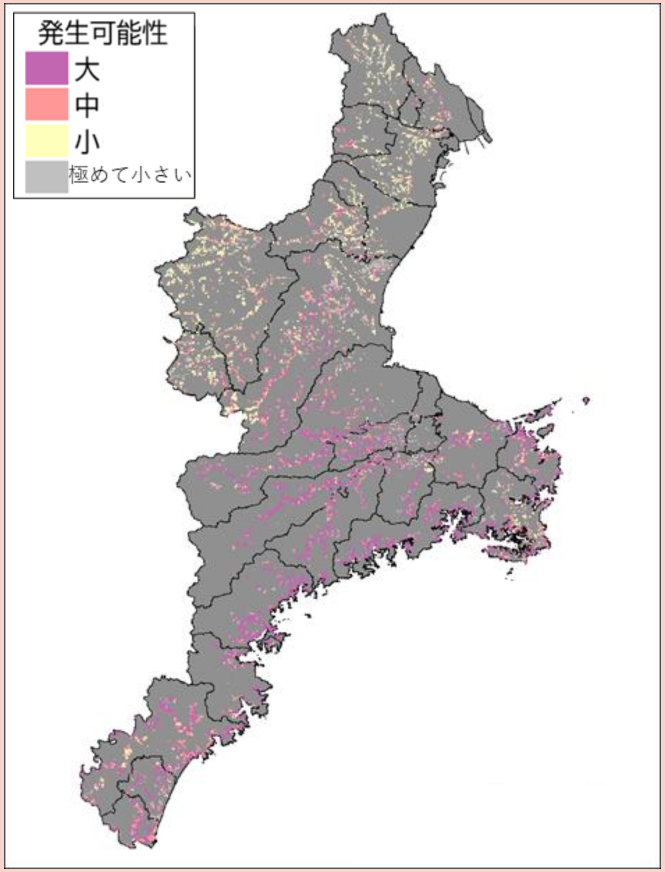
概観

理論上最大クラス及び過去最大クラスともに、県中部～南部にかけて**斜面災害が「発生可能性大」の箇所が多く見られます**。理論上最大クラスでは、県北部においても斜面災害が「発生可能性大」の箇所が見られます。

【Ｌ２】理論上最大クラス



【Ｌ１】過去最大クラス



＜斜面災害とは＞

今回の被害想定における斜面災害とは、地震の揺れによって発生する**がけ崩れ**や**地すべり**を対象としています。

出典：三重県防災ガイドブック

がけ崩れ

急な斜面が崩れ落ちます。崩れ落ちるスピードが速いため、早めの避難が必要です。

出典：特定非営利法人土砂災害防止広報センターＨＰ

地すべり

粘土などのすべりやすい地層に地下水が作用して、地面がゆっくりすべって動き出します。極めて緩慢に起こり、広い範囲にわたって被害をもたらすのが特徴です。

＜参考：凡例について＞

凡例	発生可能性
大	発生確率約25％
中	発生確率約12％
小	発生確率約２％
極めて小さい	発生確率は極めて小さい

※斜面災害の発生確率は、能登半島地震における斜面災害の発生状況をふまえて設定

（５）津波　①沿岸最大津波高

沿岸における津波の高さ（海面を基準）を予測しています。

概観

　県南部では、理論上最大クラスで10ｍを超える津波高が想定され、特に志摩半島に位置する市町で**津波高が２０ｍを超える**と予測しています。
　県北部の海抜ゼロメートル地帯等、地盤の低い市町では、沿岸の津波高が３ｍ～４ｍであっても陸上への広範囲の浸水を予測しています。

＜留意事項＞

　沿岸最大津波高は、津波が沿岸に到達した時点で海水面を基準に予測したものであり、沿岸最大津波高がそのまま陸上における津波浸水深となるものではありません。
　津波浸水深は、陸上において地点ごとの標高を基準に予測しています。
　なお、前回想定において、三重県としては理論上最大クラスの沿岸最大津波高を予測しておらず、過去最大クラスについては、予測地点が今回と異なるため、比較対象データとして掲載していません。
　また、国においては過去最大クラスを想定していません。

（単位：ｍ）

市町村名	【Ｌ２】理論上最大クラス			【Ｌ１】過去最大クラス		
	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）
桑名市	3	-	5	3	-	-
木曽岬町	4	-	5	3	-	-
四日市市	4	-	5	3	-	-
朝日町	-	-	-	-	-	-
川越町	3	-	4	3	-	-
鈴鹿市	5	-	6	3	-	-
津市	5	-	6	4	-	-
松阪市	5	-	7	4	-	-
明和町	6	-	7	6	-	-
伊勢市	8	-	9	6	-	-
鳥羽市	24	-	24	9	-	-
志摩市	26	-	26	14	-	-
南伊勢町	21	-	22	10	-	-
大紀町	15	-	16	10	-	-
尾鷲市	17	-	17	9	-	-
紀北町	19	-	19	12	-	-
熊野市	17	-	18	12	-	-
御浜町	16	-	16	10	-	-
紀宝町	11	-	11	6	-	-

※「－」は該当データがないことを示しています。

（５）津波　②沿岸津波到達時間

沿岸において津波が到達する時間を予測しています。

概観

北部から南部にかけての広い範囲で、地震発生後**５分以内**に沿岸に**30cmの津波**が到達すると予測しています。

南部では、**10分以内**で沿岸に**１ｍの津波**が到達すると予測しています。

特に、**尾鷲市**や**熊野市**においては**３分**で１ｍの津波が到達すると予測しています。

＜留意事項＞

県北部の海抜ゼロメートル地帯等、地盤の低い地域では、地震による地殻変動で地盤が沈降するほか、地震の揺れにより耐震性を持たない堤防が沈下し、低くなった堤防を津波が越えた場合に破堤することを想定しているため、津波の到達よりも早く浸水が始まると予測しています。

なお、前回想定において、三重県としては理論上最大クラスの沿岸津波高を推計していないため、比較対象データとして掲載していません。

また、国においては過去最大クラスを想定していません。

（単位：分）

市町村名	30cm						1m					
	【Ｌ２】理論上最大クラス			【Ｌ１】過去最大クラス			【Ｌ２】理論上最大クラス			【Ｌ１】過去最大クラス		
	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）	今回想定（Ｒ７）	前回想定（H25）	国想定（Ｒ６）
桑名市	3	-	-	17	-	-	87	-	82	94	-	-
木曽岬町	3	-	-	19	-	-	84	-	84	94	-	-
四日市市	15	-	-	10	-	-	70	-	70	88	-	-
朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川越町	25	-	-	14	-	-	81	-	80	71	-	-
鈴鹿市	20	-	-	10	-	-	64	-	64	68	-	-
津市	20	-	-	11	-	-	56	-	57	62	-	-
松阪市	4	-	-	4	-	-	53	-	52	59	-	-
明和町	11	-	-	21	-	-	30	-	30	54	-	-
伊勢市	9	-	-	15	-	-	22	-	22	30	-	-
鳥羽市	3	-	-	6	-	-	8	-	9	11	-	-
志摩市	3	-	-	3	-	-	4	-	5	5	-	-
南伊勢町	3	-	-	5	-	-	6	-	7	7	-	-
大紀町	3	-	-	6	-	-	7	-	7	8	-	-
尾鷲市	3	-	-	3	-	-	3	-	3	3	-	-
紀北町	3	-	-	3	-	-	6	-	6	7	-	-
熊野市	3	-	-	3	-	-	3	-	4	3	-	-
御浜町	4	-	-	4	-	-	6	-	6	5	-	-
紀宝町	3	-	-	3	-	-	5	-	5	4	-	-

※　沿岸で１ｍの水位変動が発生するまでの最短の時間を予測しています。
※「－」は該当データがないことを示しています。

（５）津波　③津波浸水面積

陸上に津波が浸水する面積を予測しています。

概観

　理論上最大クラスでは、木曽岬町や川越町において、町の面積の６割以上が浸水すると予測しています。

＜留意事項＞

　理論上最大クラスにおいて、県では海岸・河川堤防が地震の揺れにより損傷して機能しないものとしていますが、国では機能するものとしています。

　国においては過去最大クラスを想定していません。

（単位：ha）

市町村名	【Ｌ２】理論上最大クラス						【Ｌ１】過去最大クラス						総面積 (ha)
	今回想定（Ｒ７）		前回想定（H25）		国想定（Ｒ６）		今回想定（Ｒ７）		前回想定（H25）		国想定（Ｒ６）		
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	
桑名市	3,362	24.6%	3,404	24.9%	50	0.4%	1,907	14.0%	2,832	20.7%	-	-	13,665
木曽岬町	1,181	75.0%	1,207	76.7%	＊	＊	915	58.1%	1,202	76.4%	-	-	1,574
四日市市	1,960	9.5%	1,968	9.5%	670	3.2%	1,131	5.5%	1,350	6.5%	-	-	20,650
朝日町	136	22.7%	138	23.0%	＊	＊	98	16.3%	98	16.4%	-	-	599
川越町	528	60.5%	543	62.3%	100	11.5%	502	57.6%	519	59.6%	-	-	872
鈴鹿市	1,111	5.7%	1,170	6.0%	670	3.4%	576	3.0%	656	3.4%	-	-	19,446
津市	3,569	5.0%	3,651	5.1%	3,600	5.1%	2,577	3.6%	2,794	3.9%	-	-	71,118
松阪市	3,934	6.3%	4,009	6.4%	3,760	6.0%	3,345	5.4%	3,455	5.5%	-	-	62,358
明和町	1,418	34.5%	1,461	35.6%	1,440	35.1%	1,289	31.4%	1,347	32.8%	-	-	4,106
伊勢市	3,805	18.3%	3,875	18.6%	3,770	18.1%	3,618	17.4%	3,730	17.9%	-	-	20,837
鳥羽市	936	8.7%	887	8.3%	960	8.9%	817	7.6%	816	7.6%	-	-	10,734
志摩市	2,325	13.0%	2,343	13.1%	2,380	13.3%	1,769	9.9%	1,867	10.4%	-	-	17,893
南伊勢町	1,694	7.0%	1,728	7.1%	1,860	7.7%	1,136	4.7%	1,237	5.1%	-	-	24,189
大紀町	151	0.6%	151	0.6%	160	0.7%	111	0.5%	122	0.5%	-	-	23,332
尾鷲市	610	3.2%	684	3.5%	760	3.9%	481	2.5%	510	2.6%	-	-	19,271
紀北町	1,105	4.3%	1,079	4.2%	1,200	4.7%	789	3.1%	842	3.3%	-	-	25,655
熊野市	435	1.2%	418	1.1%	370	1.0%	220	0.6%	248	0.7%	-	-	37,335
御浜町	404	4.6%	400	4.5%	380	4.3%	150	1.7%	152	1.7%	-	-	8,813
紀宝町	198	2.5%	244	3.1%	240	3.0%	62	0.8%	56	0.7%	-	-	7,962
合計	28,860	7.4%	29,360	7.5%	22,320	5.7%	21,491	5.5%	23,832	6.1%	-	-	390,409

※河川等部分を除いた陸域部の浸水深１ｃｍ以上の範囲で、小数点以下第一位を四捨五入しています。
※「－」は該当データがないことを示し、「＊」は10未満であることを示しています。

2．ハザード評価結果

（５）津波　④津波浸水深

津波により浸水する範囲と浸水の深さを予測しています。

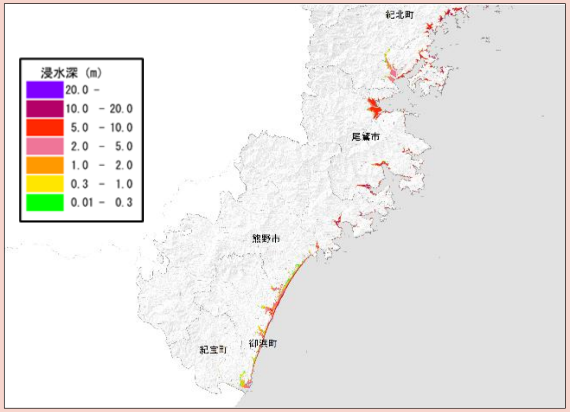
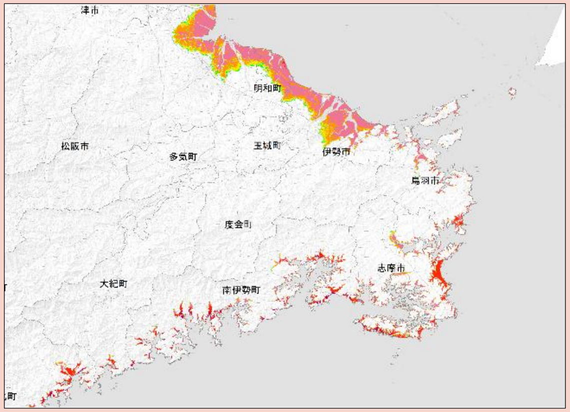
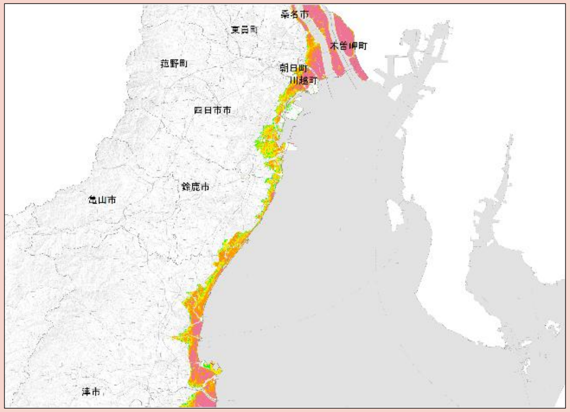
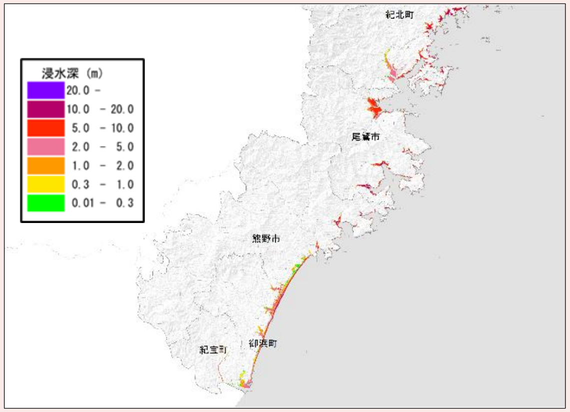
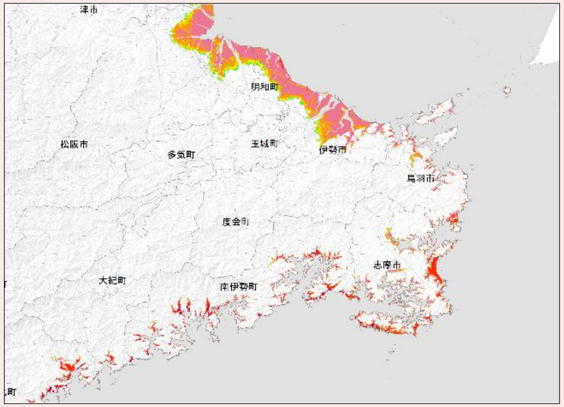
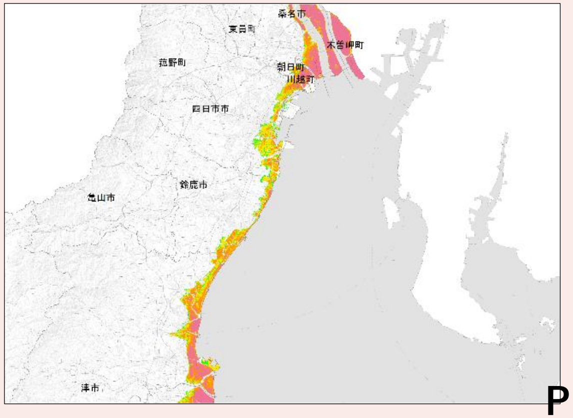
概観

　県内沿岸地域の広い範囲で２ｍを超える浸水が予測され、特に志摩半島から東紀州の一部地域では１０メートルを超える地域もあります。
　地震の揺れにより耐震性を持たない堤防が沈下し、低くなった堤防を津波が越えた場合は破堤することとしているため、県内沿岸地域の広い範囲で浸水が予測されます。

＜留意事項＞

　津波は河川を遡上することから、海岸から離れた地域でも浸水被害が発生します。本被害想定では、小規模河川における津波遡上を反映していないため、浸水想定域外であっても、河川近くでは浸水が発生する可能性があります。
　県北部の海抜ゼロメートル地帯等、地盤の低い地域では、地震による地殻変動で地盤が沈下するほか、地震の揺れにより耐震性を有しない堤防が沈下し、低くなった堤防を津波が越えた場合に破堤することを想定しているため、津波の到達よりも早く浸水が予測されます。

【L2】理論上最大クラス

	東紀州	中部～志摩半島	北部～中部
今回想定			
前回想定			

２．ハザード評価結果

（５）津波　④津波浸水深

津波により浸水する範囲と浸水の深さを予測しています。

概観

県内沿岸地域の広い範囲で２ｍを超える浸水が発生し、特に志摩半島から東紀州の一部地域では１０メートルを超える地域があると予測されます。

北部の海抜ゼロメートル地帯から伊勢湾沿岸にかけての広い範囲で津波浸水の可能性がありますが、**海岸・河川堤防の整備状況を反映**したことで、**前回想定よりも浸水域が減少**している地域があります。

＜留意事項＞

津波は河川を遡上することから、海岸から離れた地域でも浸水被害が発生します。

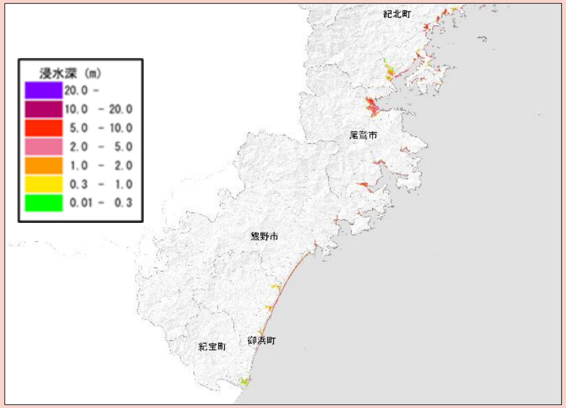
本被害想定では、小規模河川における津波遡上を反映していないため、浸水想定域外であっても、河川近くでは浸水が発生する可能性があります。

県北部の海抜ゼロメートル地帯等、地盤の低い地域では、地震による地殻変動で地盤が沈下するほか、地震の揺れにより耐震性を有しない堤防が沈下し、低くなった堤防を津波が越えた場合に破堤することを想定しているため、津波の到達よりも早く浸水が予測されます。

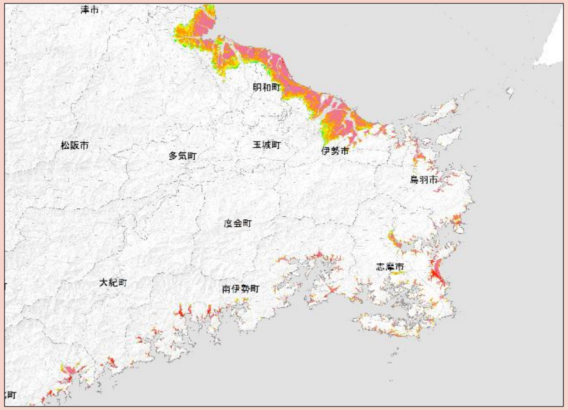
【L1】過去最大クラス

今回想定

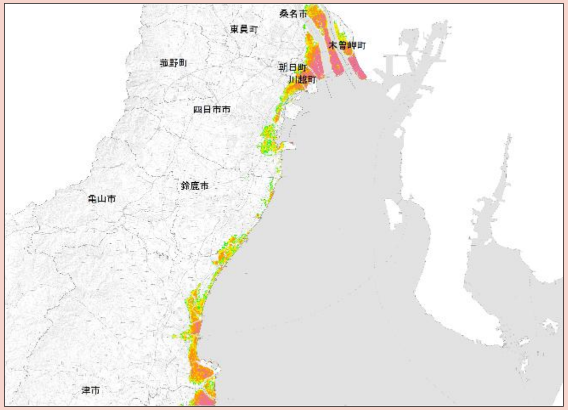
東紀州



中部～志摩半島

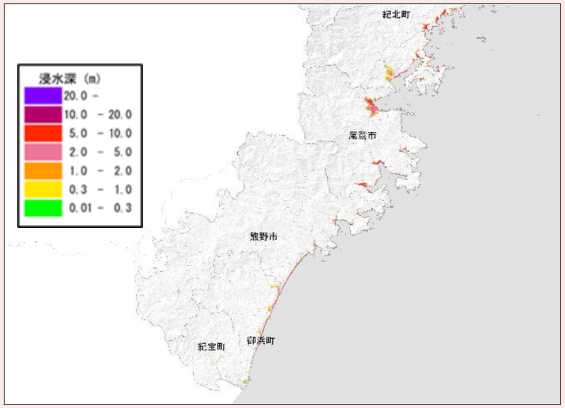


北部～中部

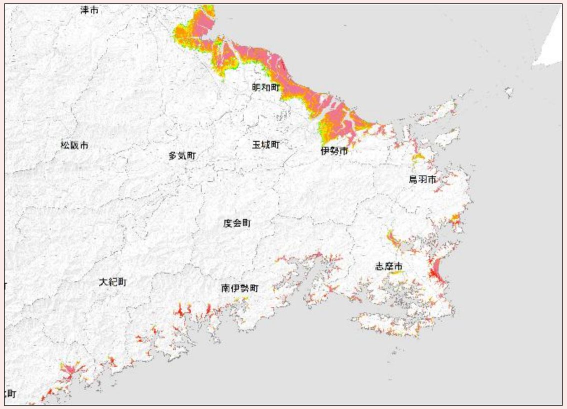


前回想定

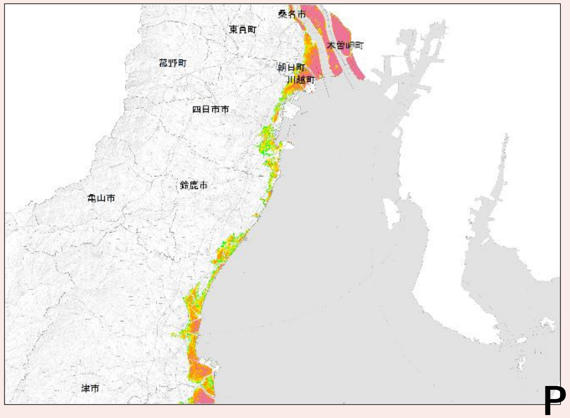
東紀州



中部～志摩半島



北部～中部



2．ハザード評価結果

（５）津波　⑤津波浸水深到達時間

陸上で津波が到達するまでの時間を予測しています。

概観

　県内沿岸地域の広い範囲で、90分以内に１㎝の津波浸水を予測しています。

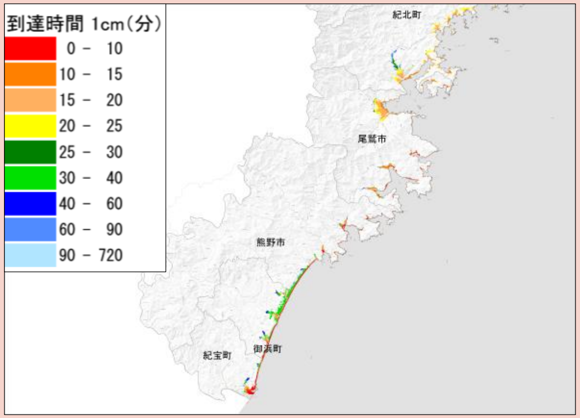
　北部の海抜ゼロメートル地帯や、志摩半島から東紀州地域においては、**津波浸水深到達時間が短くなる**と予測しています。

＜留意事項＞

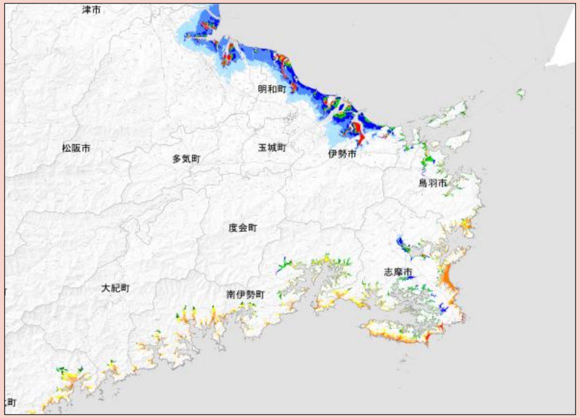
　伊勢湾内の海抜ゼロメートル地帯等では、堤防が被災して機能しなくなることで、津波の到達よりも早く浸水が始まる可能性があります。

【Ｌ２】理論上最大クラス

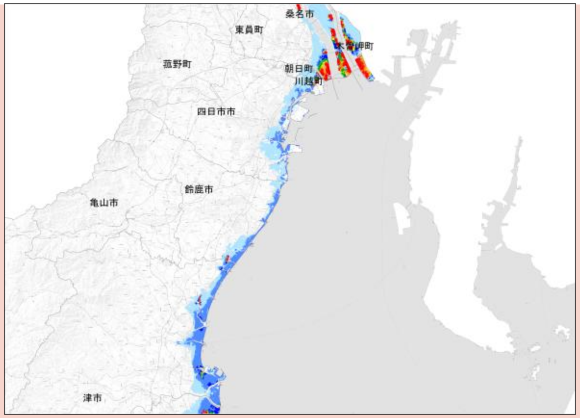
東紀州



中部～志摩半島



北部～中部



※陸上で１㎝の浸水が発生するまでの時間を、津波浸水深到達時間としています。

津波の浸水深が20cm～30cmになると、徒歩で避難できなくなる恐れがあります。
津波の浸水深は短時間で上昇するおそれがあるため、一刻も早く避難する必要があります。

2．ハザード評価結果

（5）津波　⑤津波浸水深到達時間

陸上で津波が到達するまでの時間を予測しています。

概観

県内沿岸地域の広い範囲で、90分以内に１cmの津波浸水を予測しています。

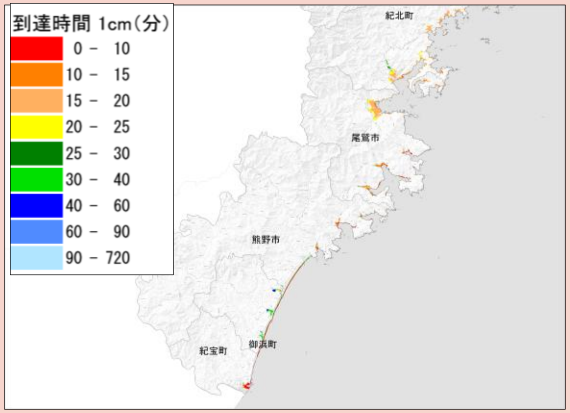
北部の海抜ゼロメートル地帯では、30分以内に１cmの津波浸水を予測する地域が見られますが、**海岸・河川堤防の整備状況を反映**したことで、**理論上最大クラスと比較して、その範囲は小さく**なっています。

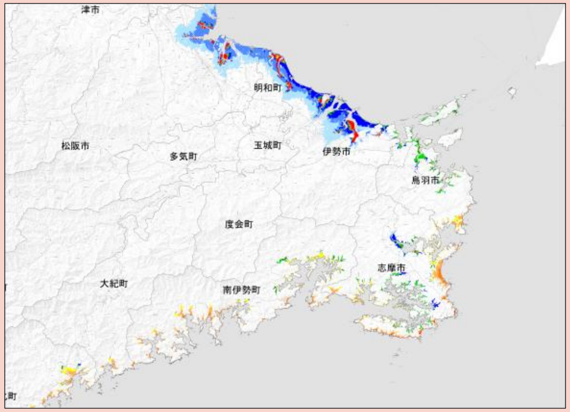
＜留意事項＞

伊勢湾内の海抜ゼロメートル地帯等では、堤防が被災して機能しなくなることで、津波の到達よりも早く浸水が始まる可能性があります。

【Ｌ１】過去最大クラス

東紀州	中部～志摩半島	北部～中部





※陸上で１cmの浸水が発生するまでの時間を、津波浸水深到達時間としています。

津波の浸水深が20cm～30cmになると、徒歩で避難できなくなる恐れがあります。
津波の浸水深は短時間で上昇するおそれがあるため、一刻も早く避難する必要があります。

（５）津波　⑥津波浸水継続区域

陸上において津波が自然排水されることなく浸水が継続する範囲を予測しています。

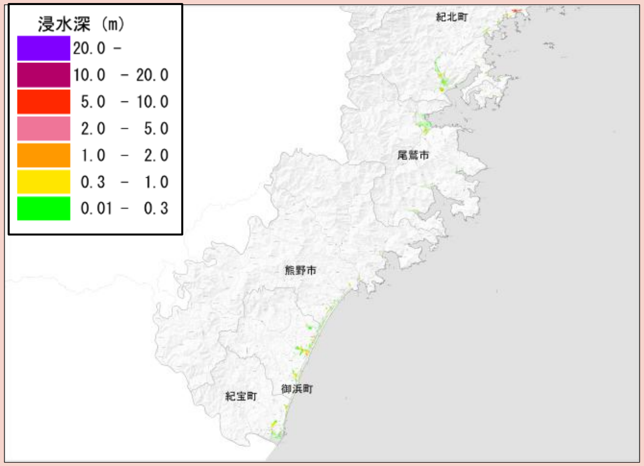
概観

　県内沿岸地域の広い範囲で、最大浸水深と比較して小さくなるものの、**発災後12時間経過しても津波の浸水は解消されない**ものと予測しています。
　特に、**北部の海抜ゼロメートル地帯から伊勢湾沿岸**では、**２メートル以上の浸水が継続**する地域が見られます。

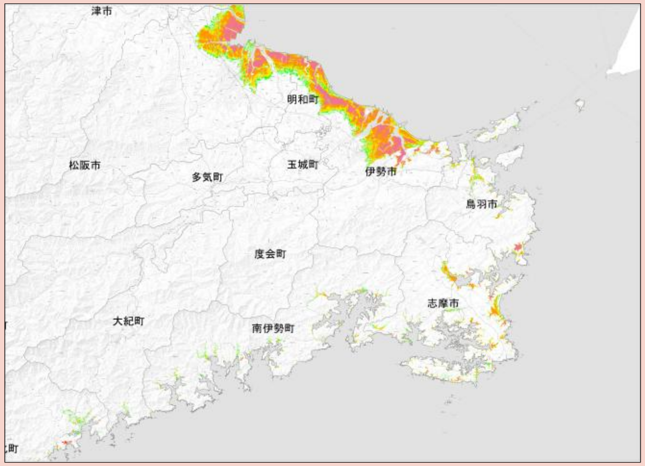
＜留意事項＞
　地震の揺れと津波により堤防が機能しなくなった場合、地盤の低い地域では堤防機能が復旧するまでの間、周辺の海や川から浸水が継続すると考えられます。

【L２】理論上最大クラス

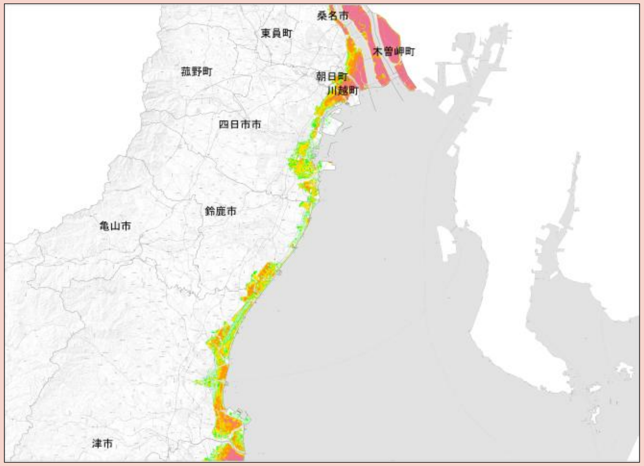
東紀州



中部～志摩半島



北部～中部



※発災後12時間を津波が収束する時間の目安として設定し、浸水が解消されない地域を予測しました。

（5）津波　⑥津波浸水継続区域

陸上において津波が自然排水されることなく浸水が継続する範囲を予測しています。

概観

　県内沿岸地域の広い範囲で、最大浸水深と比較して小さくなるものの、**発災後12時間経過しても津波の浸水は解消されない**ものと予測しています。

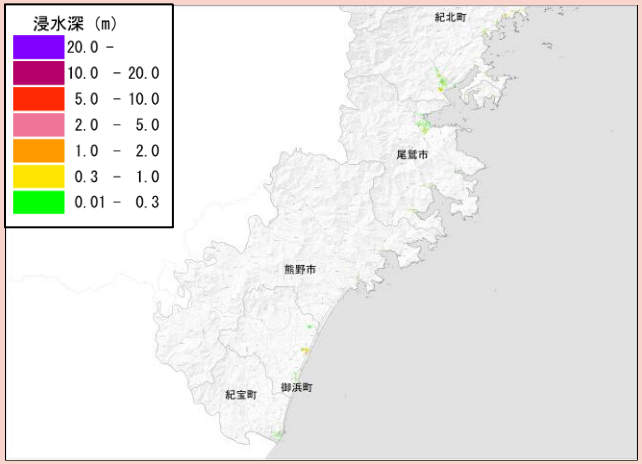
　特に、**北部の海抜ゼロメートル地帯から伊勢湾沿岸**では、**２メートル以上の浸水が継続**する地域が見られます。

＜留意事項＞

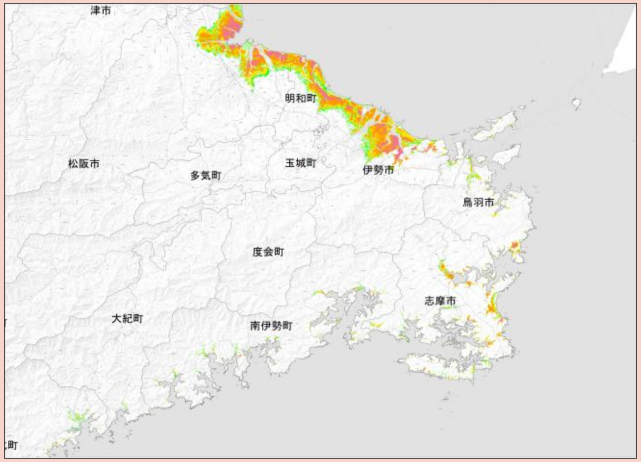
　地震の揺れと津波により堤防が機能しなくなった場合、地盤の低い地域では堤防機能が復旧するまでの間、周辺の海や川から浸水が継続すると考えられます。

【L１】過去最大クラス

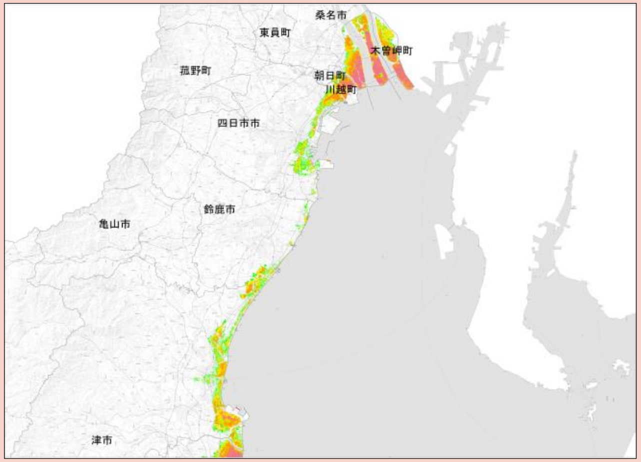
東紀州



中部～志摩半島



北部～中部



※発災後12時間を津波が収束する時間の目安として設定し、浸水が解消されない地域を予測しました。

２．ハザード評価結果

（５）津波　⑦海域の津波影響開始時間

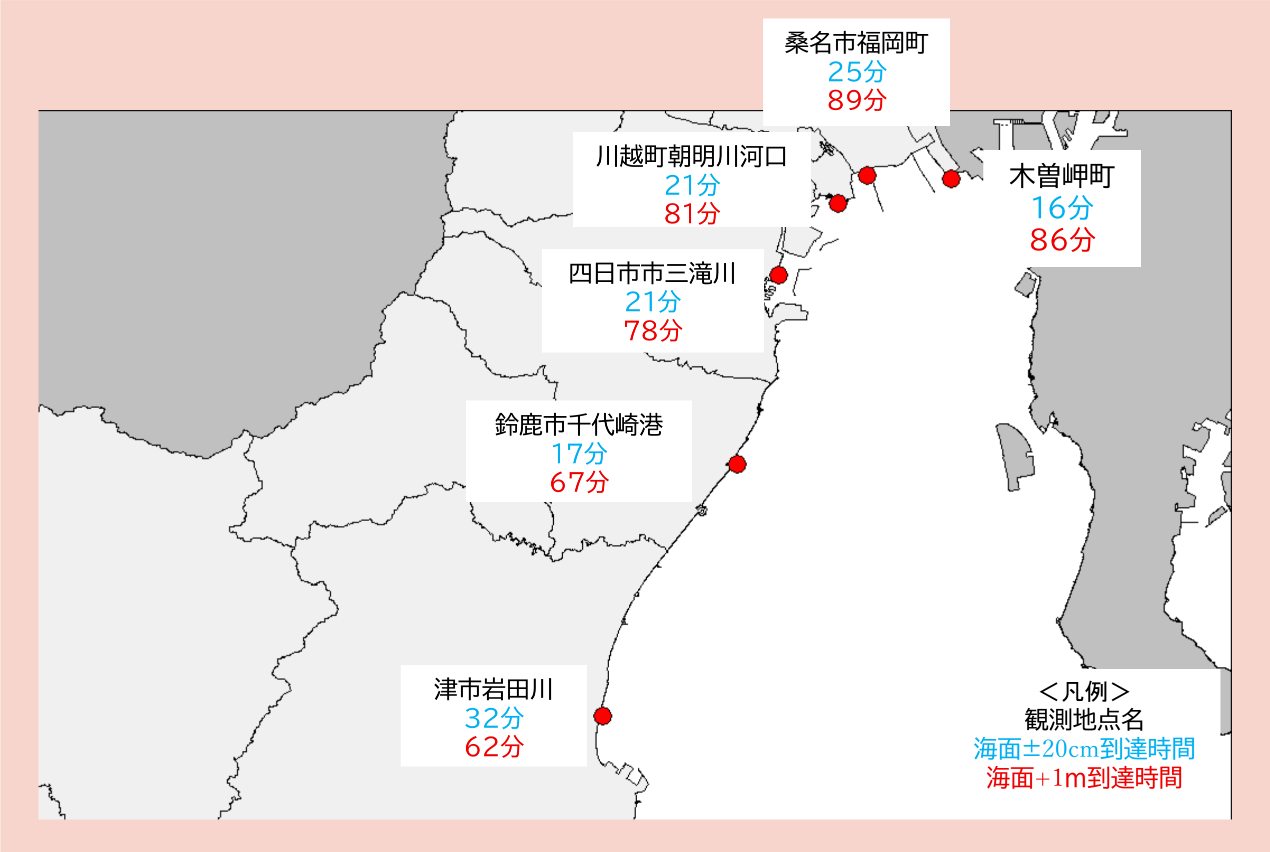
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L2】理論上最大クラス

概観

県北中部では、地震発生から概ね20分程度で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。

北部～中部



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

2．ハザード評価結果

（5）津波　⑦海域の津波影響開始時間

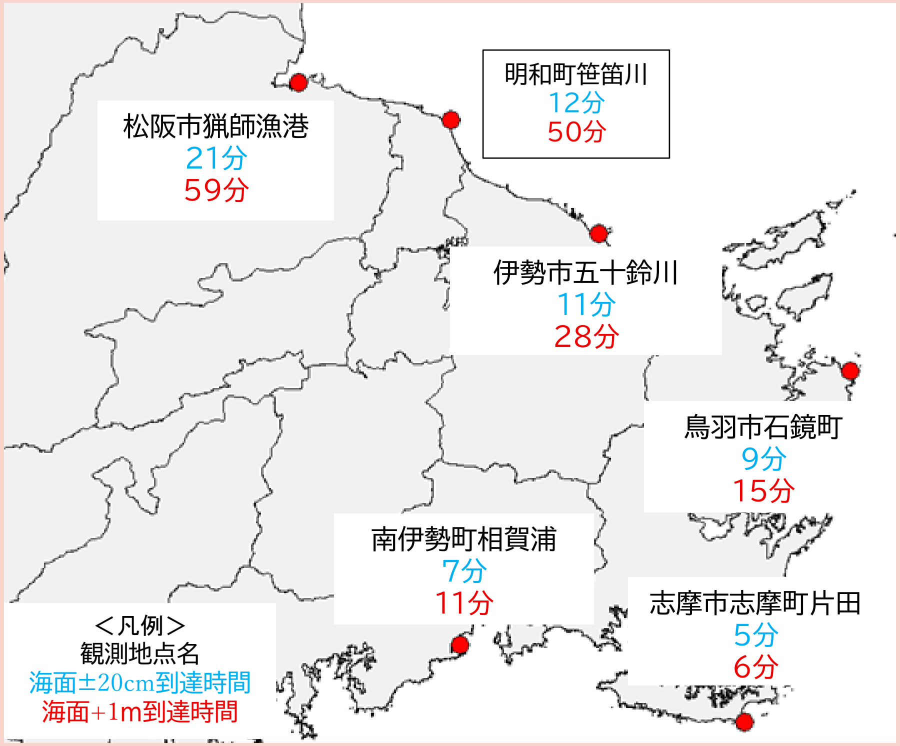
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L2】理論上最大クラス

概観

伊勢志摩地域では、地震発生から10分程度で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。特に、志摩市では地震発生から５分で潮位変化が始まると予測しています。

中部～志摩半島



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

（５）津波　⑦海域の津波影響開始時間

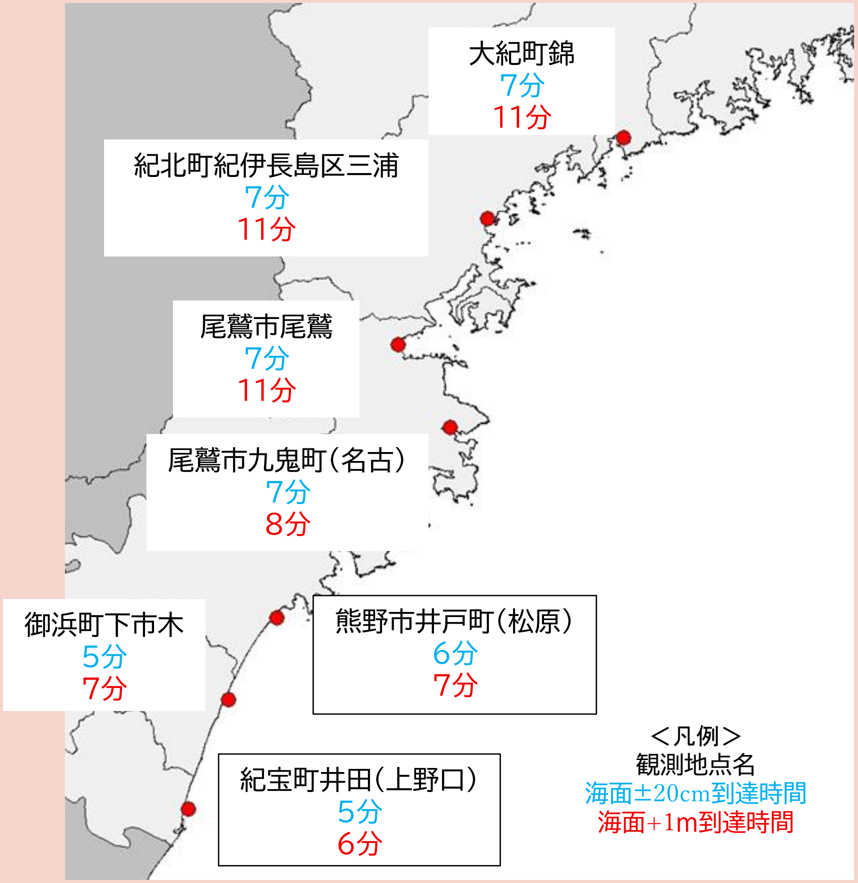
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L2】理論上最大クラス

概観

東紀州地域では、地震発生から10分以内で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。
特に、御浜町や紀宝町では５分で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。

東紀州



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

2．ハザード評価結果

（5）津波　⑦海域の津波影響開始時間

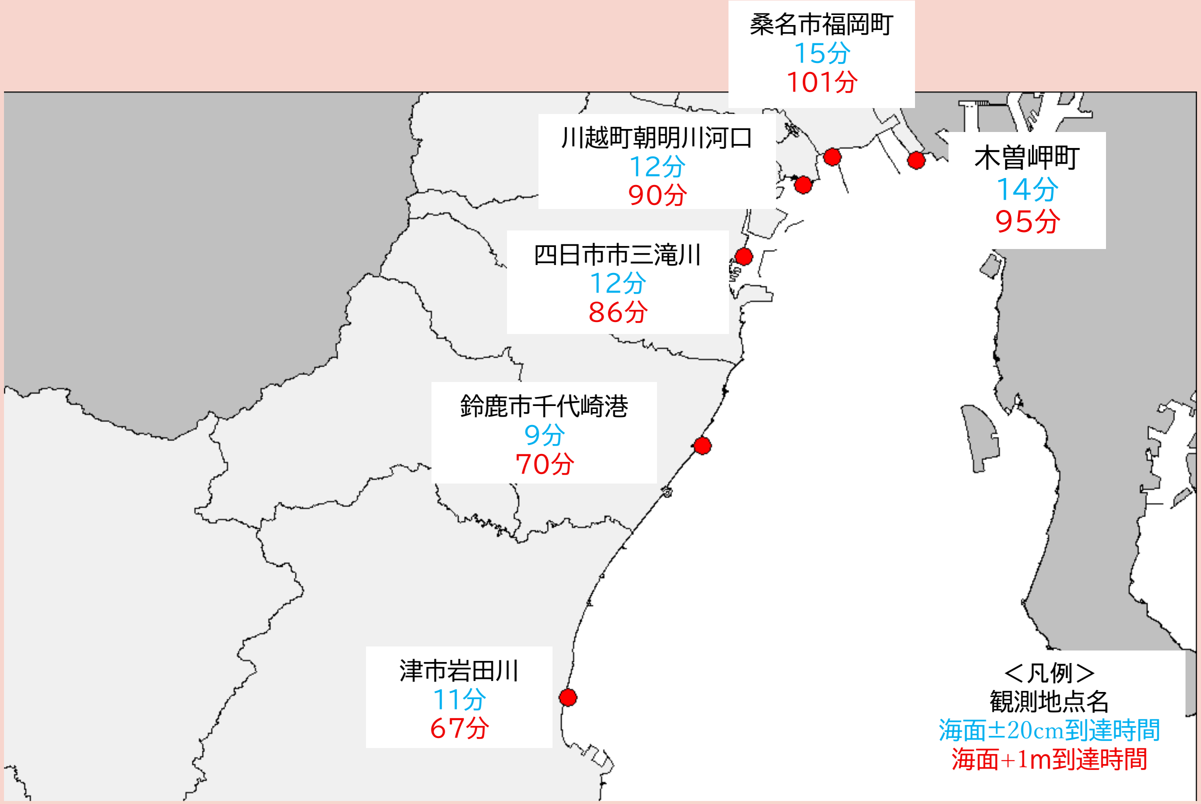
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L1】過去最大クラス

概観

県北中部では、地震発生から10分程度で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。

北部～中部



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

（5）津波　⑦海域の津波影響開始時間

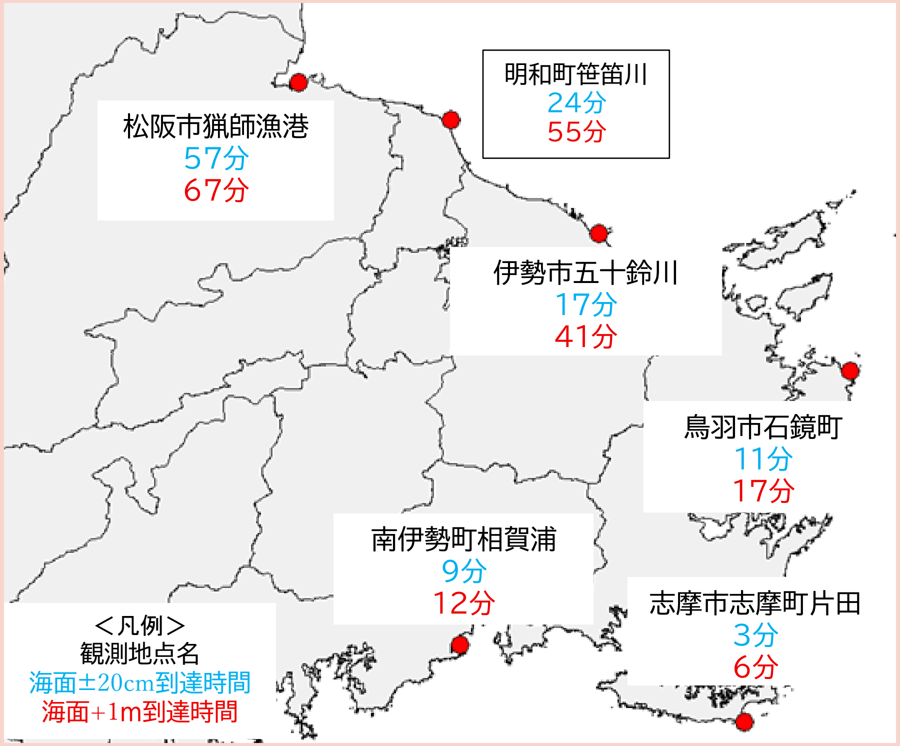
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L1】過去最大クラス

概観

伊勢志摩地域では、地震発生から10分以内で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。
特に、志摩市では地震発生から３分で20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。

中部～志摩半島



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

２．ハザード評価結果

（５）津波　⑦海域の津波影響開始時間

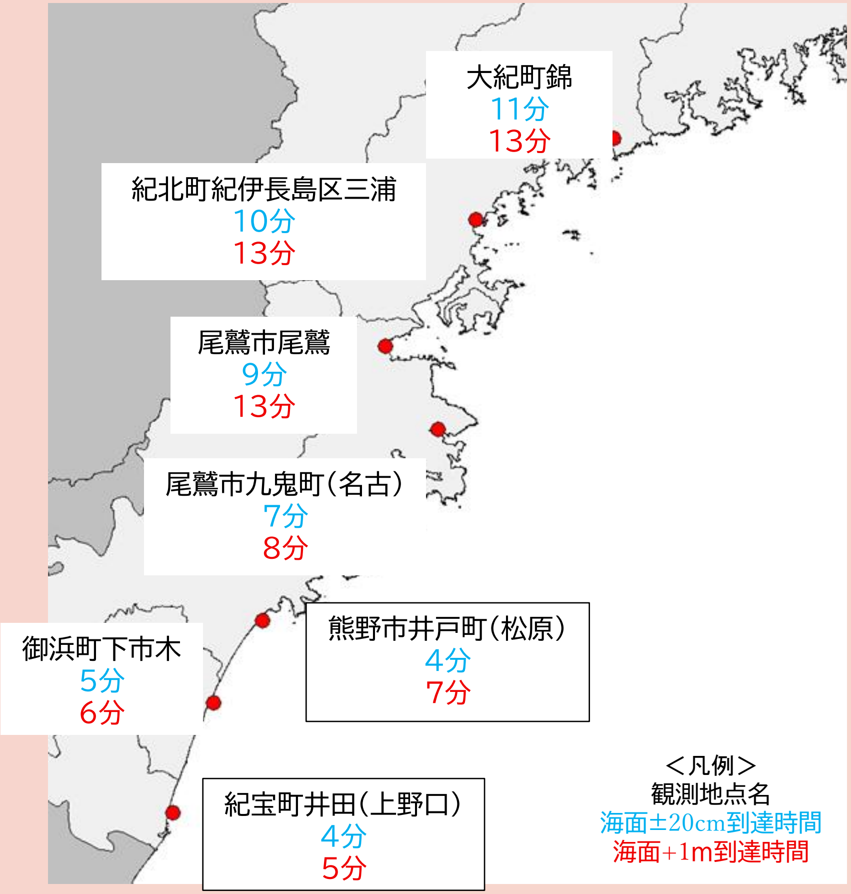
沿岸よりも沖合で津波の影響が現れるまでの時間を予測しています。

【L1】過去最大クラス

概観

東紀州地域では、地震発生から５分以内で津波による20cm程度の潮位変化が始まると予測しています。

東紀州



※気象庁が発表する津波注意報の発表下限である20cmと、巻き込まれた場合にほとんどの人が亡くなる可能性がある１ｍの高さを基準に予測しました。

３．リスク評価結果

（１）人的被害

概観

死者数は、【L2】理論上最大クラスで**約50,000人**、【L1】過去最大クラスで**約29,000人**と推計されます。
要因別では、**津波による死者**が【L2】理論上最大クラスで**全体の８割以上**を占めています。

評価結果の比較、主な増減要因について

・建物の全壊・焼失棟数の減少や人口減少により死者数が減少しています。
・新たに土砂災害警戒区域を評価の対象に含めたことから、急傾斜地崩壊等による死者数が増加しています。
・最新の津波避難タワーの整備状況を反映したことで、津波による死者が減少しています。
・避難者の属性や年齢、地形によって避難に要する時間が異なることから、その避難速度の違いを反映しています。

定量評価項目	（三重県R7）		（三重県H25）		（国想定R6）	（国想定H24）
	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】	【L1】	【L2】	【L2】
死者数（人）	**約50,000**	**約29,000**	**約53,000**	**約34,000**	**約29,000**	**約43,000**
建物倒壊等	約8,300	約900	約9,700	約1,400	約9,000	約9,800
津波	約41,000	約28,000	約42,000	約32,000	約19,000	約32,000
急傾斜地崩壊等	約200	約200	約100	約60	約70	約900
火災	約300	―	約900	―	約900	約60
ブロック塀・自動販売機転倒および屋外落下物	―	―	―	―	―	―
重傷者数（人）	**約16,000**	**約2,300**	**約18,000**	**約2,800**	（負傷者として）**約65,000**	（負傷者として）**約66,000**
軽傷者数（人）	**約38,000**	**約13,000**	**約44,000**	**約15,000**		
建物倒壊等による自力脱出困難者数（人）	**約31,000**	**約3,500**	**約38,000**	**約4,700**	**約28,000**	**約33,000**
津波による要救助者数（人） ※津波により中高層階に滞留する人数	**約13,000**	**約7,900**	**算定せず**	**算定せず**	**約3,600**	**約1,400**
津波による要捜索者数（人） ※津波による死者数と負傷者数の合計	**約43,000**	**約29,000**	**算定せず**	**算定せず**	**算定せず**	**算定せず**

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑥　【L2・L1共通】　発災時期：冬・深夜　早期避難率：低　「－」：わずか（５未満）　※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

３．リスク評価結果

（１）人的被害　＜市町別の死者数＞

（単位：人）

市町	【L2】理論上最大クラス（三重県R7）	【L1】過去最大クラス（三重県R7）	【L2】理論上最大クラス（三重県H25）	【L1】過去最大クラス（三重県H25）
桑名市	約3,200	約400	約1,900	約600
いなべ市	約20	ー	約20	ー
木曽岬町	約500	約10	約400	約400
東員町	約20	ー	約20	ー
四日市市	約1,600	約200	約2,100	約200
菰野町	約60	ー	約20	ー
朝日町	約40	ー	約30	ー
川越町	約600	約200	約400	約100
鈴鹿市	約900	約200	約1,100	約200
亀山市	約40	ー	約80	ー
津市	約4,500	約1,500	約5,200	約1,400
松阪市	約3,200	約800	約3,400	約1,100
多気町	約200	約20	約100	約10
明和町	約700	約300	約900	約700
大台町	約90	約10	約100	約10

市町	【L2】理論上最大クラス（三重県R7）	【L1】過去最大クラス（三重県R7）	【L2】理論上最大クラス（三重県H25）	【L1】過去最大クラス（三重県H25）
伊賀市	約50	ー	約70	ー
名張市	約20	約10	約20	ー
伊勢市	約6,300	約2,400	約7,000	約3,500
鳥羽市	約1,200	約1,000	約900	約900
志摩市	約4,600	約2,500	約6,900	約4,200
玉城町	約200	約20	約200	約20
南伊勢町	約4,400	約4,200	約4,000	約4,800
大紀町	約1,100	約1,300	約1,200	約1,300
度会町	約70	約10	約100	約10
尾鷲市	約5,200	約4,900	約6,400	約5,700
紀北町	約8,400	約8,000	約8,100	約7,900
熊野市	約1,000	約500	約1,000	約500
御浜町	約500	約50	約600	約100
紀宝町	約1,000	約200	約1,000	約100
合計	約50,000	約29,000	約53,000	約34,000

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑥　【L2・L1共通】　発災時期：冬・深夜　早期避難率：低　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

（1）人的被害　＜参考：市町別の被害率＞

被害率は死者数/人口で算出しており、小数第２位を四捨五入しています。
人口は、令和２年国勢調査および令和３年社会生活基本調査に基いて算出したものです。

（単位：人）

市町	人口	死者数（三重県R7）		被害率（三重県R7）	
		【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス
桑名市	138,613	約3,200	約400	2.3%	0.3%
いなべ市	44,973	約20	ー	0.1%未満	ー
木曽岬町	6,023	約500	約10	8.3%	0.2%
東員町	25,784	約20	ー	0.1%	ー
四日市市	305,424	約1,600	約200	0.5%	0.1%
菰野町	40,559	約60	ー	0.1%	ー
朝日町	11,021	約40	ー	0.4%	ー
川越町	15,123	約600	約200	4.0%	1.3%
鈴鹿市	195,670	約900	約200	0.5%	0.1%
亀山市	49,835	約40	ー	0.1%	ー
津市	274,537	約4,500	約1,500	1.6%	0.5%
松阪市	159,145	約3,200	約800	2.0%	0.5%
多気町	14,021	約200	約20	1.4%	0.1%
明和町	22,445	約700	約300	3.1%	1.3%
大台町	8,668	約90	約10	1.0%	0.1%

市町	人口	死者数（三重県R7）		被害率（三重県R7）	
		【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス
伊賀市	88,766	約50	ー	0.1%	ー
名張市	76,387	約20	約10	0.1%未満	0.1%未満
伊勢市	122,765	約6,300	約2,400	5.1%	2.0%
鳥羽市	17,525	約1,200	約1,000	6.8%	5.7%
志摩市	46,057	約4,600	約2,500	10.0%	5.4%
玉城町	15,041	約200	約20	1.3%	0.1%
南伊勢町	10,989	約4,400	約4,200	40.0%	38.2%
大紀町	7,815	約1,100	約1,300	14.1%	16.6%
度会町	7,847	約70	約10	0.9%	0.1%
尾鷲市	16,252	約5,200	約4,900	32.0%	30.2%
紀北町	14,604	約8,400	約8,000	57.5%	54.8%
熊野市	15,965	約1,000	約500	6.3%	3.1%
御浜町	8,079	約500	約50	6.2%	0.6%
紀宝町	10,321	約1,000	約200	9.7%	1.9%
合計	1,770,254	約50,000	約29,000	2.8%	1.6%

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑥　【L2・L1共通】　発災時期：冬・深夜　早期避難率：低　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

３．リスク評価結果

（１）人的被害　＜定性評価＞

＜建物倒壊等＞

・耐震性を有しない古い建物に高齢者や要配慮者が居住している場合、建物倒壊等による人的被害が増加する可能性がある。
・半壊した建物内に留まっている人が、その後の地震による建物倒壊で下敷きになり、人的被害が増加する可能性がある。
・高層階において、長周期地震動による大きな揺れや、家具等の転倒・移動によって多数の負傷者が発生する可能性がある。高層オフィスビルやタワーマンション等が建物被害を受けた場合、施設内の人数が多いため、人的被害が増加する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、さらに強い揺れにより全壊する建物が増加し、人的被害が増加する可能性がある。

＜津波＞

・津波到達が早い地域では、早期に避難を開始した場合でも津波に巻き込まれる可能性がある。
・東日本大震災でも見られたように、津波からの避難で自動車避難をする住民が増えると道路の渋滞が発生し、避難完了できないリスクが高まる。また、徒歩避難や救助活動等の妨げにもなる。
・津波避難タワー等に避難完了した場合でも、沿岸部で津波火災が発生し延焼が拡大すると、煙に巻かれたり、延焼火災に巻き込まれる等で人的被害が増加する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、建物倒壊等により自力で脱出することが困難な状況が増加し、津波からの避難が困難なだけではなく、閉じ込められて津波から避難できない状況により、人的被害が増加する可能性がある。

３．リスク評価結果

（１）人的被害　＜定性評価＞

＜火災＞

・集合住宅、高層ビル、地下施設等で火災が発生すると、多数の住民や利用者が煙に巻かれることによって人的被害が増加する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、延焼拡大に至る状況がさらに多く発生し、複数の延焼火災が発生することにより、逃げまどいによる人的被害が増加する可能性がある。

＜その他＞

・観光客や他県からの来訪者が、駅や大規模集客施設で揺れや火災、また避難する場所が分からず津波に巻き込まれることで、人的被害が増加する可能性がある。
・列車の脱線、自動車事故、パニック等による群衆事故、階段や高所からの転落などにより、人的被害が増加する可能性がある。

３．リスク評価結果

（１）人的被害　【参考】津波からの避難意識向上と津波による死者数に関する試算

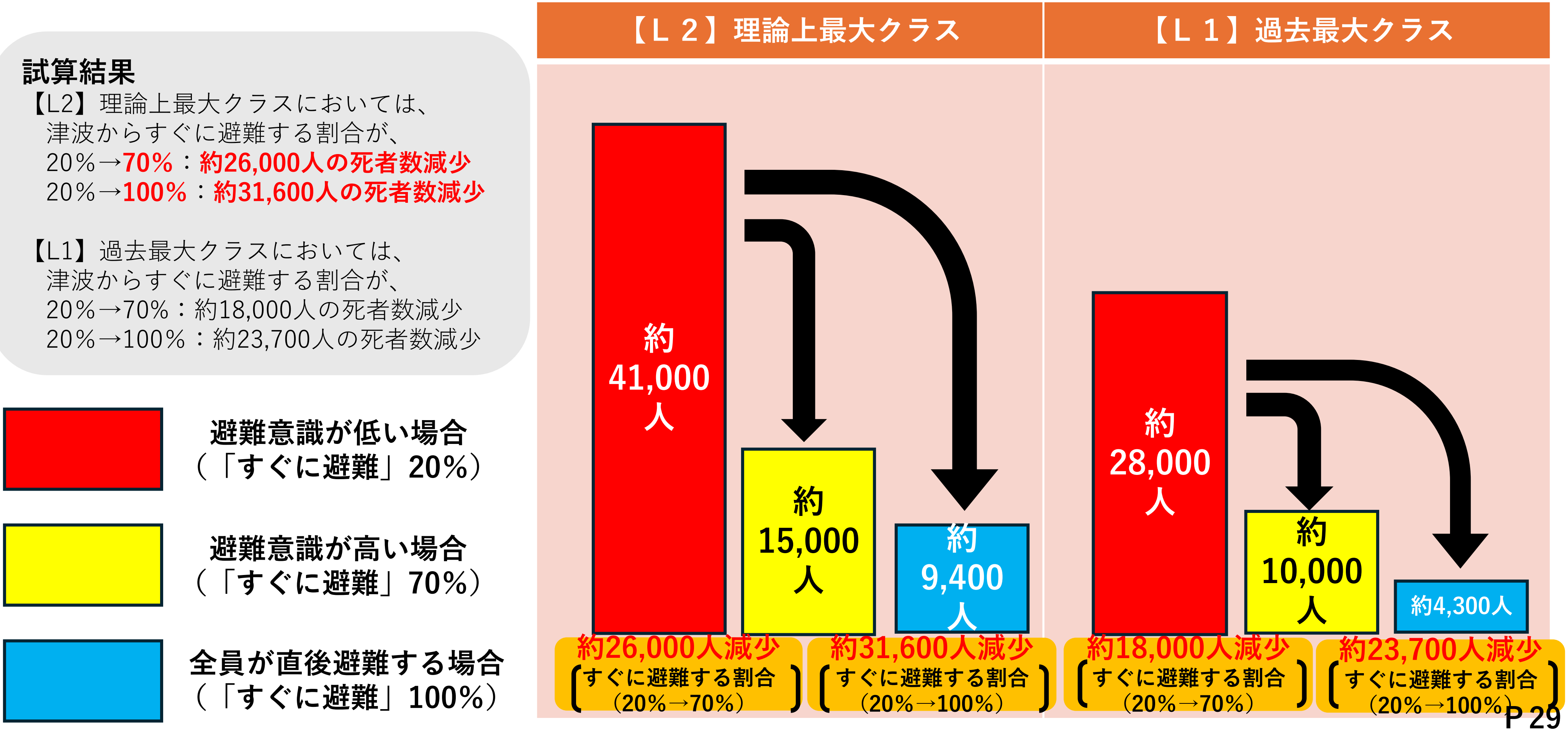
前提

・津波による死者を減らすためには、津波からの迅速な避難が重要であることから、津波からの避難意識向上と津波による死者数について試算を行いました。
・試算は、今回の被害想定における死者数（津波）を用いました。（【L2】約41,000人、【L1】約28,000人）
・今回の想定では、津波からすぐに避難する割合を20%としており、これを「①避難意識が低い場合」としています。
・津波からすぐに避難する割合が70%に高まった場合を「②避難意識が高い場合」としています。
・津波からすぐに避難する割合が100%に高まった場合を「③全員が直後避難する場合」としています。

試算結果

【L2】理論上最大クラスにおいては、
津波からすぐに避難する割合が、
20%→**70%**：**約26,000人の死者数減少**
20%→**100%**：**約31,600人の死者数減少**

【L1】過去最大クラスにおいては、
津波からすぐに避難する割合が、
20%→70%：約18,000人の死者数減少
20%→100%：約23,700人の死者数減少



【参考】津波からの避難意識向上と津波による死者数に関する試算（市町別）

【L2】理論上最大クラス

（単位：人）

市町	津波による死者数（三重県R7）		
	避難意識低（すぐに避難20%）	避難意識高（すぐに避難70%）	全員直後避難（すぐに避難100%）
桑名市	約2,900	約800	約700
いなべ市	ー	ー	ー
木曽岬町	約500	約50	約50
東員町	ー	ー	ー
四日市市	約500	約 100	約100
菰野町	ー	ー	ー
朝日町	約10	約10	約10
川越町	約600	約100	約100
鈴鹿市	約500	約90	約90
亀山市	ー	ー	ー
津市	約3,400	約400	約400
松阪市	約2,000	約400	約400
多気町	ー	ー	ー
明和町	約400	約100	約90
大台町	ー	ー	ー

市町	津波による死者数（三重県R7）		
	避難意識低（すぐに避難20%）	避難意識高（すぐに避難70%）	全員直後避難（すぐに避難100%）
伊賀市	ー	ー	ー
名張市	ー	ー	ー
伊勢市	約4,900	約1,300	約1,100
鳥羽市	約1,000	約 200	約70
志摩市	約4,000	約2,300	約1,500
玉城町	ー	ー	ー
南伊勢町	約4,100	約1,600	約500
大紀町	約1,000	約400	約100
度会町	ー	ー	ー
尾鷲市	約4,900	約2,400	約1,200
紀北町	約8,100	約3,900	約1,700
熊野市	約800	約400	約400
御浜町	約400	約30	約20
紀宝町	約900	約800	約700
合計	約41,000	約15,000	約9,400

地震動：陸側　津波：ケース⑥　発災時期：冬・深夜　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

【参考】津波からの避難意識向上と津波による死者数に関する試算（市町別）

【L1】過去最大クラス

（単位：人）

市町	津波による死者数（三重県R7）		
	避難意識低（すぐに避難20％）	避難意識高（すぐに避難70％）	全員直後避難（すぐに避難100％）
桑名市	約400	約30	約30
いなべ市	ー	ー	ー
木曽岬町	約10	ー	ー
東員町	ー	ー	ー
四日市市	約100	約 10	約10
菰野町	ー	ー	ー
朝日町	ー	ー	ー
川越町	約200	約20	約20
鈴鹿市	約100	約10	約10
亀山市	ー	ー	ー
津市	約1,400	約30	約30
松阪市	約800	約20	約20
多気町	ー	ー	ー
明和町	約300	約10	約10
大台町	ー	ー	ー
伊賀市	ー	ー	ー
名張市	ー	ー	ー
伊勢市	約2,300	約200	約100
鳥羽市	約900	約100	約40
志摩市	約2,400	約1,200	約500
玉城町	ー	ー	ー
南伊勢町	約4,000	約1,600	約400
大紀町	約1,200	約500	約80
度会町	ー	ー	ー
尾鷲市	約4,800	約2,400	約1,100
紀北町	約7,900	約3,800	約1,400
熊野市	約400	約300	約300
御浜町	約20	ー	ー
紀宝町	約200	約200	約200
合計	約28,000	約10,000	約4,300

発災時期：冬・深夜　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

（２）建物被害

概観

全壊・焼失棟数は、【L2】理論上最大クラスでは**約222,000棟**、【L1】過去最大クラスでは**約55,000棟**と推計されます。

要因別では、【L2】理論上最大クラスでは、揺れによる全壊・焼失が最も多く、【L1】過去最大クラスでは、津波による全壊・焼失が最も多い結果となりました。

評価結果の比較、主な増減要因について

- 耐震性を有しない古い建物の除却や建て替えが進んだことから、揺れによる全壊・焼失棟数が減少しました。
- 今回想定から新たに土砂災害警戒区域を評価の対象に含めたことから、急傾斜地崩壊等による全壊・焼失棟数が増加しました。
- 建物からの出火率に最新のデータを反映した結果、火災による全壊・焼失棟数が減少しました。
- 感震ブレーカーの設置状況を反映したことで、火災による焼失棟数が減少しています。

定量評価項目	（三重県R7）		（三重県H25）		（国想定R6）	（国想定H24）
	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】	【L1】	【L2】	【L2】
全壊・焼失棟数（棟）	**約222,000**	**約55,000**	**約248,000**	**約70,000**	**約253,000**	**約239,000**
揺れ	約152,000	約18,000	約170,000	約23,000	約157,000	約163,000
液状化	約3,800	約3,700	約6,200	約5,900	約5,300	約6,500
津波	約39,000	約32,000	約37,000	約38,000	約31,000	約24,000
急傾斜地等	約2,300	約1,700	約1,100	約700	約800	約800
火災	約24,000	約100	約34,000	約2,100	約59,000	約45,000
半壊棟数（棟）	**約188,000**	**約138,000**	**約191,000**	**約141,000**	**約208,000**	**算定せず**
ブロック塀等の転倒（件）	**約25,000**	**約6,500**	**約26,000**	**約6,200**	**算定せず**	**算定せず**
自動販売機の転倒数（件）	**約700**	**約400**			**算定せず**	**算定せず**
屋外落下物の発生数（件）	**約36,000**	**約1,100**	**約44,000**	**約2,100**	**算定せず**	**算定せず**

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑦【L2・L1共通】発災時期：冬・夕方　「－」：わずか（５未満）　※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

（2）建物被害　＜市町別の全壊・焼失棟数＞

（単位：棟）

市町	【L2】理論上最大クラス（三重県R7）	【L1】過去最大クラス（三重県R7）	【L2】理論上最大クラス（三重県H25）	【L1】過去最大クラス（三重県H25）
桑名市	約12,000	約3,700	約13,000	約6,600
いなべ市	約700	約20	約600	約20
木曽岬町	約2,700	約300	約2,400	約2,100
東員町	約600	約30	約600	約50
四日市市	約25,000	約2,900	約31,000	約2,400
菰野町	約1,500	約40	約600	約20
朝日町	約700	約100	約500	約90
川越町	約2,500	約1,500	約2,300	約1,200
鈴鹿市	約11,000	約1,000	約11,000	約700
亀山市	約1,000	約70	約1,400	約50
津市	約31,000	約4,400	約32,000	約3,900
松阪市	約25,000	約3,600	約32,000	約4,600
多気町	約4,400	約400	約2,300	約100
明和町	約5,700	約1,700	約5,300	約1,700
大台町	約1,500	約200	約1,600	約200

市町	【L2】理論上最大クラス（三重県R7）	【L1】過去最大クラス（三重県R7）	【L2】理論上最大クラス（三重県H25）	【L1】過去最大クラス（三重県H25）
伊賀市	約1,000	約50	約1,900	約60
名張市	約500	約100	約600	約20
伊勢市	約34,000	約8,000	約41,000	約14,000
鳥羽市	約5,200	約2,600	約5,800	約2,900
志摩市	約15,000	約5,100	約20,000	約8,200
玉城町	約3,000	約300	約2,900	約400
南伊勢町	約8,400	約5,100	約8,500	約5,500
大紀町	約2,100	約1,100	約2,600	約1,100
度会町	約1,200	約100	約1,500	約200
尾鷲市	約8,500	約4,600	約9,500	約5,000
紀北町	約10,000	約6,000	約9,000	約5,700
熊野市	約4,600	約1,000	約5,000	約1,500
御浜町	約1,800	約500	約2,900	約1,300
紀宝町	約1,200	約800	約1,300	約900
合計	約222,000	約55,000	約248,000	約70,000

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑦　【L2・L1共通】　発災時期：冬・夕方　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

（２）建物被害　＜参考：市町別の被害率＞

被害率は全壊・焼失棟数/建物棟数で算出しており、小数第２位を四捨五入しています。
建物棟数は令和６年度に収集した固定資産課税台帳データおよび公共建築物のデータに基づき算出しています。

（単位：棟）

市町	建物棟数	全壊・焼失棟数（三重県R7）		被害率（三重県R7）	
		【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス
桑名市	64,512	約12,000	約3,700	18.6%	5.7%
いなべ市	28,339	約700	約20	2.5%	0.1%
木曽岬町	3,959	約2,700	約300	68.2%	7.6%
東員町	13,734	約600	約30	4.4%	0.2%
四日市市	151,837	約25,000	約2,900	16.5%	1.9%
菰野町	25,828	約1,500	約40	5.8%	0.2%
朝日町	5,129	約700	約100	13.6%	1.9%
川越町	6,841	約2,500	約1,500	36.5%	21.9%
鈴鹿市	87,347	約11,000	約1,000	12.6%	1.1%
亀山市	27,148	約1,000	約70	3.7%	0.3%
津市	149,843	約31,000	約4,400	20.7%	2.9%
松阪市	81,794	約25,000	約3,600	30.6%	4.4%
多気町	14,356	約4,400	約400	30.6%	2.8%
明和町	14,988	約5,700	約1,700	38.0%	11.3%
大台町	8,373	約1,500	約200	17.9%	2.4%

市町	建物棟数	全壊・焼失棟数（三重県R7）		被害率（三重県R7）	
		【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス
伊賀市	48,255	約1,000	約50	2.1%	0.1%
名張市	39,457	約500	約100	1.3%	0.3%
伊勢市	64,136	約34,000	約8,000	53.0%	12.5%
鳥羽市	12,594	約5,200	約2,600	41.3%	20.6%
志摩市	36,302	約15,000	約5,100	41.3%	14.0%
玉城町	8,645	約3,000	約300	34.7%	3.5%
南伊勢町	11,470	約8,400	約5,100	73.2%	44.5%
大紀町	6,567	約2,100	約1,100	32.0%	16.8%
度会町	4,900	約1,200	約100	24.5%	2.0%
尾鷲市	13,801	約8,500	約4,600	61.6%	33.3%
紀北町	13,702	約10,000	約6,000	73.0%	43.8%
熊野市	13,766	約4,600	約1,000	33.4%	7.3%
御浜町	7,205	約1,800	約500	25.0%	6.9%
紀宝町	7,281	約1,200	約800	16.5%	11.0%
合計	972,109	約222,000	約55,000	22.8%	5.7%

【L2】地震動：陸側　津波：ケース⑦　【L2・L1共通】　発災時期：冬・夕方　「－」：わずか（５未満）
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

３．リスク評価結果

（２）建物被害　＜定性評価＞

＜揺れ＞

・全壊に至らなかった建物でも、その後の地震によって建物被害が増加する可能性がある。
・揺れが長く継続する場合は、建物被害が増加する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、建物被害が急拡大する震度６強以上の地域が増えるため、新耐震基準(1981年6月施行）以降に建築された建物でも全壊等の被害に至る建物が発生する可能性がある。

＜液状化＞

・能登半島地震で見られるように、地盤が弱い場所では、耐震性を有する建物でも、地震時に杭が損傷することで建物が使用できなくなる可能性がある。
・能登半島地震でも見られた液状化の発生に伴う側方流動が発生した場合、耐震性を有する建物であっても、建物が大きく傾斜することで、建物が使用できなくなる可能性がある。

＜津波＞

・東日本大震災での津波で見られたように、漂流物の衝突等によって被害が拡大する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、さらに強い揺れと津波による浸水拡大により、全壊等の被害が増加する可能性がある。

（２）建物被害　＜定性評価＞

＜火災＞

・津波警報等が発表され、津波の浸水が想定される地域では、住民は避難を優先するため、出火時に初期消火が出来ず延焼が拡大する可能性がある。
・津波警報等が発表され、津波の浸水が想定される地域では、消防機関による消火活動が困難となり、延焼が拡大する可能性がある。
・風が強い地域および季節では、2025年に大分県大分市佐賀関で発生した大規模火災のように、飛び火によってさらに延焼が拡大する可能性がある。
・東日本大震災で見られたように、津波により流されたプロパンガスボンベや自動車に、他の漂流物が衝突するなどして発生する津波火災により、市街地の延焼火災につながる可能性がある。また、飛び火により森林火災が発生した場合、さらに延焼が拡大する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・理論上最大クラスでは、出火件数が大幅に増加するため、住民による初期消火や消防による消火に至らず、延焼による焼失被害が大きく増加する可能性がある。

＜急傾斜地崩壊等＞

・熊本地震や能登半島地震の被災地で見られたように、地震発生後に大雨が降った場合には地盤が緩み、崖崩れや宅地の崩壊等が発生して建物被害が拡大する可能性がある。
・東日本大震災で仙台市の宅地造成地で発生したように、盛土が大きく崩壊し、多数の住宅が傾く等の被害が発生する可能性がある。

3．リスク評価結果

（3）火災被害

概観

【L2】理論上最大クラスでは、炎上出火件数は約300件、残出火件数は約300件、焼失棟数は約24,000棟と推計されます。**新たに津波火災を推計**し、【L2】理論上最大クラスでは、**津波火災発生件数は約70件**となりました。

評価結果の比較、主な増減要因について

・建物からの出火率に最新のデータを反映した結果、炎上出火件数及び焼失棟数が減少しました。
・残出火から延焼が広がると考えられることから、【L2】理論上最大クラスと【L1】過去最大クラスにおける焼失棟数に大きな差異が生じる結果となりました。
・感震ブレーカーの設置状況を反映したことで、火災による焼失棟数が減少しています。

定量評価項目	（三重県R7）		（三重県H25）		（国想定R6）
	【L2】理論上最大クラス	【L1】過去最大クラス	【L2】	【L1】	【L2】
炎上出火件数（件）※1	約300	約50	約400	約60	算定せず
残出火件数（件）　※2	約300	－	約300	約10	算定せず
焼失棟数（棟）	約24,000	約100	約34,000	約2,100	約59,000
津波火災発生件数（件）	約70	約60	算定せず	算定せず	算定せず

※1　炎上出火件数・・・地震による出火で住民による初期消火に失敗し、消防運用による消火が必要な件数
※2　残出火件数・・・消防による消火活動でも消火できず延焼につながる件数

発災時期：【L2】・【L1】ともに冬・夕方の発災
「－」：わずか（5未満）

３．リスク評価結果

（３）火災被害＜市町別の炎上出火件数＞

（単位：件）

市町	【L2】理論上最大クラス（三重県R7）	【L1】過去最大クラス（三重県R7）	【L2】理論上最大クラス（三重県H25）	【L1】過去最大クラス（三重県H25）
桑名市	約10	ー	約10	ー
いなべ市	ー	ー	ー	ー
木曽岬町	ー	ー	ー	ー
東員町	ー	ー	ー	ー
四日市市	約40	ー	約50	ー
菰野町	ー	ー	ー	ー
朝日町	ー	ー	ー	ー
川越町	ー	ー	ー	ー
鈴鹿市	約20	ー	約20	ー
亀山市	ー	ー	ー	ー
津市	約50	約10	約50	約10
松阪市	約50	約10	約60	約10
多気町	約10	ー	ー	ー
明和町	約10	ー	約10	ー
大台町	ー	ー	ー	ー
伊賀市	ー	ー	ー	ー
名張市	ー	ー	ー	ー
伊勢市	約70	約10	約90	約10
鳥羽市	約10	ー	約10	ー
志摩市	約20	ー	約30	約10
玉城町	約10	ー	約10	ー
南伊勢町	約10	ー	約10	ー
大紀町	ー	ー	ー	ー
度会町	ー	ー	ー	ー
尾鷲市	約10	ー	約10	ー
紀北町	約10	ー	約10	ー
熊野市	約10	ー	約10	ー
御浜町	ー	ー	ー	ー
紀宝町	ー	ー	ー	ー
合計	約300	約50	約400	約60

「ー」：わずか（５未満）
発災時期：【L2】・【L1】ともに冬・夕方の発災
※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合があります。

（3）火災被害　＜定性評価＞

・津波警報等が発表され、津波の浸水が想定される地域では、住民は避難を優先するため、出火時に初期消火が出来ず延焼が拡大する可能性がある。
・津波警報等が発表され、津波の浸水が想定される地域では、消防機関による消火活動が困難となり、延焼が拡大する可能性がある。
・風が強い地域および季節では、2025年に大分県大分市佐賀関で発生した大規模火災のように、飛び火によってさらに延焼が拡大する可能性がある。
・東日本大震災で見られたように、津波により流されたプロパンガスボンベや自動車に、他の漂流物が衝突するなどして発生する津波火災により、市街地の延焼火災につながる可能性がある。また、飛び火により森林火災が発生した場合、さらに延焼が拡大する可能性がある。
・集合住宅、高層ビル、地下施設等で火災が発生すると、多数の住民や利用者が煙に巻かれることによって人的被害が増加する可能性がある。

（さらに過酷な状況）

・過去最大クラスに比べて、出火件数が大幅に増加するため、住民による初期消火や消防による消火に至らず、延焼による焼失被害が増加する可能性がある。
・過去最大クラスに比べると延焼拡大に至る状況が多く発生し、複数の延焼火災が発生することにより、逃げまどいによる人的被害が増加する可能性がある。

４．半割れケースの評価結果

（１）半割れケースについて

半割れケースとは

半割れケースとは、**南海トラフの想定震源域内の一部で大規模地震が発生（先発地震）**し、**残りの想定震源域内で大規模地震（後発地震）が発生**したケースです。

半割れケースでは、先発地震が東側で発生し、その後西側で後発地震が発生するパターンと、西側が先に発生し、その後東側で発生する２つのパターンがあります。

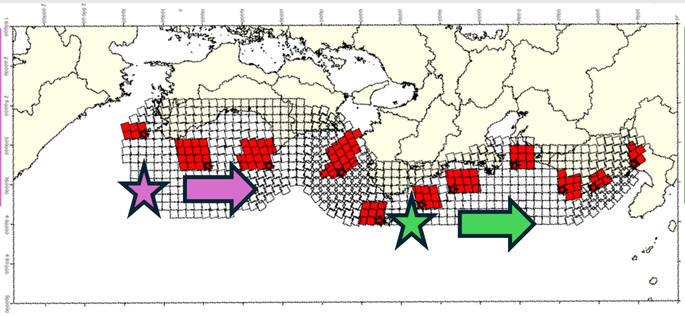
三重県では、南海トラフを震源として**実際に発生した地震の直近２事例**（１９４４年昭和東南海地震とその約２年後の１９４６年に発生した昭和南海地震、１８５４年安政東海地震とその約３２時間後に発生した安政南海地震）があり、いずれもM_w８．０以上の規模で時間差をもって連続して発生したことをふまえ、**今回新たに想定**しました。

半割れケースを想定する目的

半割れケースを新たに想定する目的は、以下の２つです。

- **南海トラフ地震臨時情報や、後発地震発生までの時間を最大限活用**して、**行政と県民が適切な対策・対応**をとることによって、新たな**被害が軽減できる可能性**を示す。
- 先発地震発生後の活発な地震活動により、大規模な地震が時間差をおいて繰り返し発生することで、**被害の増加**や**社会の混乱**につながる可能性を示す。

【西半割れケース】
今回の三重県の被害想定では、南海トラフの想定震源域の西端を震源として地震が発生するケースを想定



【東半割れケース】
今回の三重県の被害想定では、潮岬沖を震源として地震が発生するケースを想定

※☆印は今回想定における震源の設定場所
※矢印は震源から岩盤が破壊されていく方向

想定地震	震源規模	発生パターン
過去最大クラス（Ｌ１）	東半割れ：M_w８．５	東半割れ⇒西半割れ
	西半割れ：M_w８．７	西半割れ⇒東半割れ

後発地震発生に備えることで、最も被害を減らすことができるケース（西半割れ⇒東半割れ）

※実際に過去三重県に大きな被害をもたらした昭和東南海・南海地震の規模を想定し、【Ｌ１】過去最大クラスの半割れケースを記載しています。

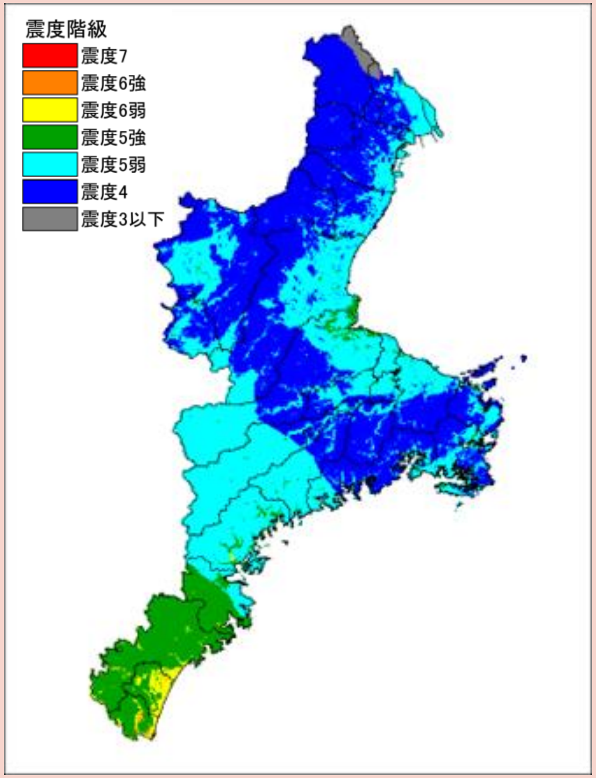
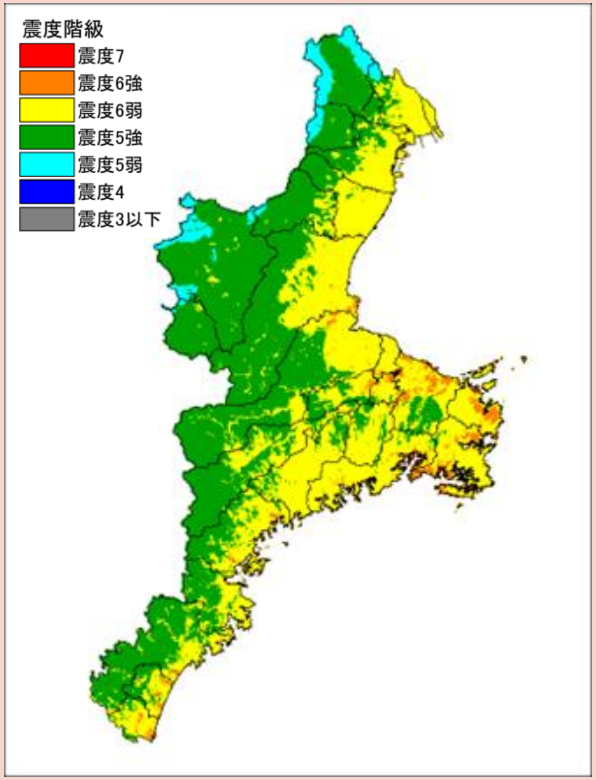
4．半割れケースの評価結果

（2）ハザード評価　①　地震動

概観

　西半割れでは、**県内のほぼ全域で震度４から震度５弱**の揺れが予測され、**東紀州の一部地域で震度６弱**の揺れが予測されます。

　東半割れでは、伊勢湾沿岸部から志摩半島を中心に**県内の約半分の地域で震度６弱以上**の揺れが予測されます。

西半割れ	東半割れ
	

＜留意事項＞

　この震度分布は、その発生順番に関係なく、西半割れ及び東半割れが個別に発生した場合の予測を示したものです。

4．半割れケースの評価結果

＜市町別震度別面積割合＞

【西半割れ】

	【Ｌ１】過去最大クラス														
	3		4		5弱		5強		6弱		6強		7		総面積
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	(km^2)
桑名市	9.5	6.9%	62.7	45.9%	64.2	47.0%	0.2	0.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	136.7
いなべ市	32.3	14.7%	186.9	85.0%	0.7	0.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.2%	15.7	99.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.7
東員町	0.0	0.0%	22.1	97.4%	0.6	2.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	22.7
四日市市	0.0	0.0%	142.1	68.8%	64.3	31.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	206.5
菰野町	0.0	0.0%	106.1	99.2%	0.9	0.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	107.0
朝日町	0.0	0.0%	4.4	74.1%	1.6	25.9%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	6.0
川越町	0.0	0.0%	1.9	21.6%	6.8	78.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.7
鈴鹿市	0.0	0.0%	126.8	65.2%	67.6	34.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	194.5
亀山市	0.0	0.0%	177.8	93.1%	13.3	6.9%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	191.0
津市	0.0	0.0%	361.6	50.8%	341.6	48.0%	8.0	1.1%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	711.2
松阪市	0.0	0.0%	209.5	33.6%	388.1	62.2%	26.0	4.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	623.6
多気町	0.0	0.0%	46.7	45.3%	56.1	54.4%	0.3	0.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	103.1
明和町	0.0	0.0%	0.1	0.3%	39.6	96.4%	1.3	3.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	41.1
大台町	0.0	0.0%	49.1	13.5%	312.7	86.2%	1.0	0.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	362.9
伊賀市	0.0	0.0%	365.1	65.4%	191.6	34.3%	1.5	0.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	558.2
名張市	0.0	0.0%	74.3	57.2%	53.6	41.3%	1.9	1.5%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	129.8
伊勢市	0.0	0.0%	102.4	49.1%	103.3	49.6%	2.7	1.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	208.4
鳥羽市	0.0	0.0%	71.6	66.7%	35.1	32.7%	0.7	0.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	107.3
志摩市	0.0	0.0%	88.5	49.5%	87.2	48.7%	3.2	1.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	178.9
玉城町	0.0	0.0%	9.6	23.5%	30.4	74.2%	0.9	2.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	40.9
南伊勢町	0.0	0.0%	167.4	69.2%	71.8	29.7%	2.7	1.1%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	241.9
大紀町	0.0	0.0%	74.5	31.9%	156.1	66.9%	2.7	1.1%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	233.3
度会町	0.0	0.0%	113.0	83.7%	21.9	16.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	135.0
尾鷲市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	70.3	36.5%	121.7	63.1%	0.8	0.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	192.7
紀北町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	232.3	90.6%	23.1	9.0%	1.2	0.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	256.6
熊野市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	351.5	94.2%	21.5	5.8%	0.3	0.1%	0.0	0.0%	373.4
御浜町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	52.9	60.0%	34.8	39.5%	0.4	0.4%	0.0	0.0%	88.1
紀宝町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	62.8	78.9%	13.2	16.6%	3.6	4.5%	0.0	0.0%	79.6
計	41.8	0.7%	2564.3	44.4%	2427.4	42.0%	665.1	11.5%	71.6	1.2%	4.3	0.1%	0.0	0.0%	5774.5

【東半割れ】

	【Ｌ１】過去最大クラス										
	5弱		5強		6弱		6強		7		総面積
	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	面積（㎢）	割合（%）	(km^2)
桑名市	10.6	7.8%	34.3	25.1%	91.4	66.9%	0.4	0.3%	0.0	0.0%	136.7
いなべ市	87.5	39.8%	131.9	60.0%	0.5	0.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	219.8
木曽岬町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.7	100.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	15.7
東員町	0.0	0.0%	20.1	88.5%	2.6	11.5%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	22.7
四日市市	0.0	0.0%	90.5	43.8%	115.6	56.0%	0.4	0.2%	0.0	0.0%	206.5
菰野町	22.6	21.1%	83.7	78.2%	0.8	0.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	107.0
朝日町	0.0	0.0%	0.0	0.1%	6.0	99.9%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	6.0
川越町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.7	100.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	8.7
鈴鹿市	0.0	0.0%	71.8	36.9%	122.5	63.0%	0.1	0.0%	0.0	0.0%	194.5
亀山市	7.2	3.8%	163.2	85.4%	20.6	10.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	191.0
津市	0.0	0.0%	452.8	63.7%	253.1	35.6%	5.3	0.7%	0.0	0.0%	711.2
松阪市	0.0	0.0%	404.8	64.9%	212.4	34.1%	6.4	1.0%	0.0	0.0%	623.6
多気町	0.0	0.0%	44.0	42.7%	54.7	53.1%	4.4	4.3%	0.0	0.0%	103.1
明和町	0.0	0.0%	0.0	0.0%	38.3	93.2%	2.8	6.8%	0.0	0.0%	41.1
大台町	0.0	0.0%	269.6	74.3%	93.1	25.7%	0.2	0.1%	0.0	0.0%	362.9
伊賀市	75.5	13.5%	475.5	85.2%	7.2	1.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	558.2
名張市	6.6	5.1%	121.4	93.6%	1.7	1.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	129.8
伊勢市	0.0	0.0%	63.7	30.6%	116.5	55.9%	28.1	13.5%	0.0	0.0%	208.4
鳥羽市	0.0	0.0%	0.0	0.0%	83.9	78.2%	23.4	21.8%	0.0	0.0%	107.3
志摩市	0.0	0.0%	10.1	5.7%	141.3	79.0%	27.4	15.3%	0.1	0.1%	178.9
玉城町	0.0	0.0%	4.7	11.5%	29.0	70.8%	7.2	17.7%	0.0	0.0%	40.9
度会町	0.0	0.0%	37.5	27.8%	95.5	70.8%	1.9	1.4%	0.0	0.0%	135.0
大紀町	0.0	0.0%	52.3	22.4%	180.4	77.3%	0.6	0.2%	0.0	0.0%	233.3
南伊勢町	0.0	0.0%	17.7	7.3%	203.6	84.2%	19.8	8.2%	0.7	0.3%	241.9
尾鷲市	0.0	0.0%	106.5	55.2%	85.3	44.3%	0.9	0.5%	0.0	0.0%	192.7
紀北町	0.0	0.0%	123.5	48.1%	124.6	48.6%	8.3	3.2%	0.2	0.1%	256.6
熊野市	0.0	0.0%	282.7	75.7%	86.9	23.3%	3.7	1.0%	0.1	0.0%	373.4
御浜町	0.0	0.0%	40.9	46.4%	39.8	45.2%	7.4	8.4%	0.0	0.1%	88.1
紀宝町	0.0	0.0%	22.1	27.7%	51.3	64.4%	6.2	7.8%	0.0	0.0%	79.6
計	210.0	3.6%	3125.3	54.1%	2283.1	39.5%	155.0	2.7%	1.2	0.0%	5774.5

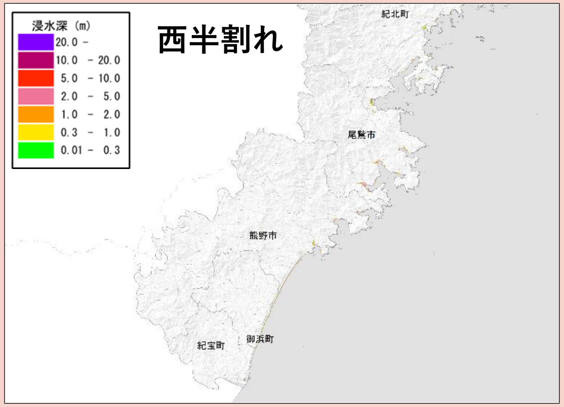
4．半割れケースの評価結果

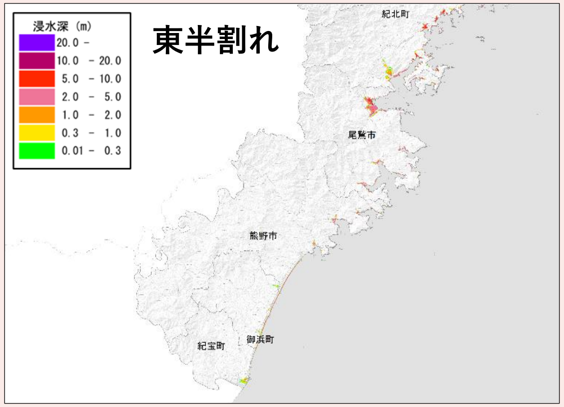
（２）ハザード評価　②　津波浸水想定

概観

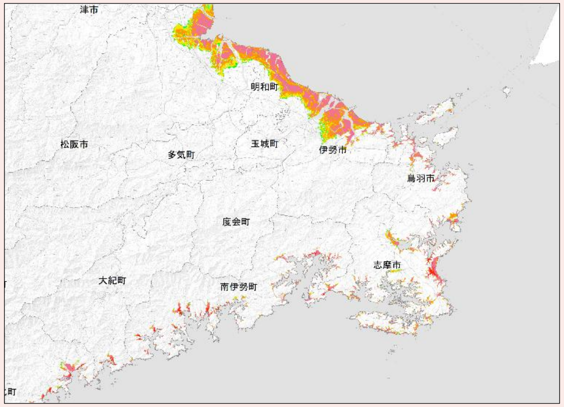
西半割れでは、浸水範囲は少ないものの、**一部の地域では津波浸水が予測**されます。
東半割れでは、北部の海抜ゼロメートル地帯から伊勢湾沿岸にかけての**広い範囲で浸水が予測**されます。

東紀州

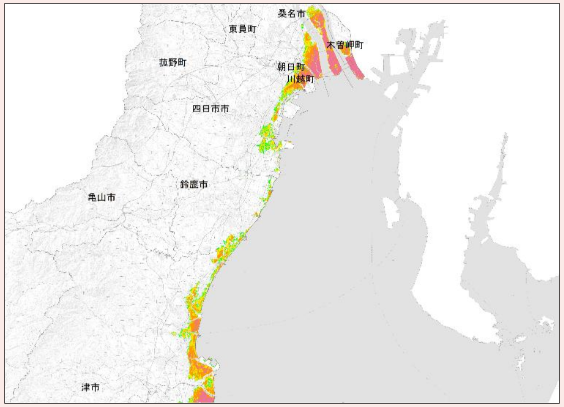




中部～志摩半島



北部～中部



＜留意事項＞

この津波浸水想定は、その発生順番に関係なく、西半割れ及び東半割れが個別に発生した場合の予測を示したものです。

4．半割れケースの評価結果

（3）リスク評価　①　人的被害

概観

先発地震（西半割れ）が発生し、１週間以内に後発地震（東半割れ）が発生した場合、**南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）をふまえ、後発地震に備えた対策**を実施することで**津波による死者数は大きく減少**すると推計されます。

先発地震（西半割れ）が発生 → **１週間以内に後発地震（東半割れ）が発生**

前提条件

●すぐに避難する割合
発災の５分後（深夜に発災した場合は１０分後）に避難を開始する人の割合です。

●先発地震の発生により、気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されると、市町から、事前避難対象地域※の住民の方に対して、最初の地震から１週間を基本とした事前避難を呼びかけます。

※事前避難対象地域
後発地震発生時に津波からの避難が間に合わない地域として市町があらかじめ指定する地域です。
今回は、【30分以内に30cmの津波浸水が生じる地域のすべての住民が、先発地震の発生後に津波浸水が生じない地域に避難する場合】として推計を行っています。

避難行動の違い	津波による死者数
すぐに避難する割合２０％ かつ 事前避難対象地域の住民避難なし	約27,000人
すぐに避難する割合７０％ かつ 事前避難対象地域の住民避難なし	約7,200人
すぐに避難する割合７０％ かつ 事前避難対象地域の住民避難あり	約300人

※：冬・深夜の発災

先発地震後に後発地震に備えて適切に避難行動をとることで、津波による死者数が最大**約26,000人**の**減少**

４．半割れケースの評価結果

（３）リスク評価　②　建物被害

概観

　西半割れの揺れによる全壊棟数は約500棟、東半割れの揺れによる全壊棟数は約17,000棟と推計されます。しかし、先発地震（西半割れ）のあとに後発地震（東半割れ）が続けて発生した場合、**先発地震で受けた損傷の影響**により、東半割れの揺れによる全壊棟数は約19,000棟と推計され、**単独で発生した場合と比較すると約2,000棟増加**しています。

先発地震（西半割れ）が発生	→	後発地震（東半割れ）が発生	＞	（参考）東半割れが単独で発生
揺れによる全壊棟数		揺れによる全壊棟数		揺れによる全壊棟数
約500棟		約19,000棟		約17,000棟

先発地震後に後発地震が発生した場合、単独で発生した場合と比較すると、揺れによる全壊棟数が**約2,000棟**の**増加**